東京都立神津高等学校 令和8年度(3学年)　　教科 国語 科目 論理国語

教 科: 国語　　科 目: 論理国語　　単位数:3　　単位対象学年組:第3学年 A組

使用教科書:(『精選論理国語』(東京書籍))

教科 国語の目標:

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国に言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
論理的思考力を育むために必要な語彙力を向上し、文や文章の効果的な構成や展開についての理解を深める。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理展開を的確に捉え、主張や要旨を把握する力を身につける。また、主張や要旨に対して批判的に検討し、それらを踏まえて自分なりの意見を伝える力を高める。	言葉のもつ価値への理解を深め、他者と協働しながらコミュニケーションを通して言葉を使うことで言語感覚を磨き、その能力の向上を図る態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元 言葉を再考する 【知識及び技能】 ・「アイデンティティー」「差異」という概念語について，辞書的な意味だけでなく，本文の文脈の中での使われ方を理解し，説明している。 ・引用や具体例と筆者の主張の関係を読み取り，筆者の主張を理解し，説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者が幼少時に考えた「表音文字」と「表意文字」の違いを読み取り，説明している。 ・従来の記号学における記号観と，その範疇を超える言語記号の特殊性を，各具体例に即して理解し，説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文の理解を踏まえたうえで，人間の思考や認識と「言語」の関連性についての見方を深め，説明しようとしている。	・一人1台端末の活用 ・言語の特質について ・記号の特質について ・具体例と筆者の主張の関係について			○	【知識及び技能】 ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで多言語文化の中で育った筆者の体験と，「言語の環世界」の考察についての関連性を捉え，学習課題に沿って人間の思考や認識と言語についての見方を広げようとしている。 ・粘り強く具体例と筆者の主張の文章構造をつかみ，学習の見通しをもって言語の持つ文化形成力について，自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	16
	定期考査						○	○		1
	B 単元 近代という時代 【知識及び技能】 ・譲歩のかたち，対比や要約表現，同義表現の反復(言い換え)や項目立てなどを理解し，それらの重要性について説明している。 ・「近代」という概念語について，辞書的な意味だけでなく「近代」の中心的な考え方を捉えて，本文の文脈の中での使われ方を理解し，説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「近代科学の自然観」における「二元論的な認識論」を捉え，「環境問題」との関連性を理解して主要な論点を読み取り，説明している。 ・各意味段落の内容を踏まえ，適切な小見出しをつけ，その根拠について説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文の理解を踏まえて，人間の自然観・社会観という新たな視点から環境問題について捉え直し，自分の考えを深め，説明しようとしている。	・一人1台端末の活用 ・「近代」という概念について ・環境、自然について ・文章構成について			○	【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・推論の仕方について理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，資料との関係を把握し，内容や構成を的確に捉えている。 ・「読むこと」において，人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く近代の二元論的自然観と環境問題とのつながりを捉え，学習課題に沿って環境問題に対する視野を広げようとしている。	○	○	○	17
	定期考査						○	○		1

2学期	C 単元 メディアを問い直す 【知識及び技能】 ・情報化社会を題材とする文章を読み，自分の考えと比較・検討することで，読書の意義について理解を深め，説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者の主張と，同テーマの他の文章を相互に関連づけながら，書物の在り方について考えを深め，根拠をもって説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の主張を踏まえて，自分にとっての本の存在や普段の書き言葉との関わり方を振り返り，情報化社会における本の在り方について，自分の考えを的確に論述しようとしている。	・一人1台端末の活用 ・メディアについて ・現代における読書について ・複数の資料を読み比べる			○	【知識及び技能】 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，関連する文章や資料を基に，書き手の立場や目的を考えながら，内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において，設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に，必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで筆者の主張と，その論拠となる具体例を捉え，学習の見通しをもって自分の日常生活に引き寄せて社会の発展に伴う本の在り方について，自分の考えを明確にして論述しようとしている。				16
	定期考査						○	○		1
	D単元 他者のいる思考 【知識及び技能】 ・事例や他の言説の引用・根拠と主張の関係を読み取り，筆者の主張を理解し，説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・理想化・単純化した見方を相対化して，多様性を示す筆者の視点を理解し，自分の知識や経験を見つめ直して物事の捉え方に対する自分の考えを深め，根拠をもって説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文の内容から筆者の考えを読み取り，社会の歴史的見方について要約し，自分の意見もまとめようとしている。	・一人1台端末の活用 ・「他者」という概念について ・単純化と多様性について ・段落間のつながりを読み取る方法について			○	【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し，文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで原始社会の見方についての筆者の主張を理解し，学習の見通しをもって社会に対する歴史的見方や考え方を深めようとしている。				17
	定期考査						○	○		1
3学期	E単元 困難な時代に 【知識及び技能】 ・文章の対比構造や具体例（現象）とその一般化の関係を読み取り，筆者の主張を理解し，説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文化の崩壊と「近代性」の関連について，歴史的な展開を捉えて読み取り，説明している。 ・分かりづらいと感じたところを質問のかたちにしながら，内容に即した意味段落に分けて適切な小見出しをつけ，その根拠を説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文の内容を踏まえて，情報技術がもたらす社会への影響について，身近なSNSなどの問題に引き寄せて考察を深め，考えたことを説明しようとしている。	・一人1台端末の活用 ・情報社会について ・意味段落の分け方とその根拠について			○	【知識及び技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事例と引用を用いた論の展開を確かめながら主張を捉え，知性の意義について自分の考えを深める。 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に二項対立による論理展開から筆者の主張を理解し，今までの学習を生かして情報技術がもたらした功罪について，身近なSNSなどの問題を踏まえながら，考察を深めようとしている。				17
	F単元 自己と社会 【知識及び技能】 ・問題提起とその答え，言い換え表現や指示語の内容を的確に読み取り，筆者の主張を理解し，説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文の中心的主張やその根拠にかかわる内容に対して「論証の問い」を考え，説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の主張を踏まえて，その論拠を批判的に考察し，自己の社会学的視点を深め，説明しようとしている。	・一人1台端末の活用 ・言い換え表現や指示語の読み取りについて ・「自己」という概念について			○	【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人間の社会性と倫理観についての筆者の考察を理解し，人間に対する理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで人間の社会的欲望と倫理的努力に対する筆者の主張を読み取り，学習課題に沿って他者との関係性の構築について，自分の考えを述べようとしている。				17
	定期考査						○	○		1 合計 105

東京都立神津高等学校 令和 8 年度(3学年)　教科　地歴公民 科目　政治経済

教　科: 地歴公民　　科　目: 政治経済　　単位数: 2　　対象学年組:第3学年A組

使用教科書:(　実教出版『最新政治・経済』　)

教科 地歴公民の目標:

【 知　識　及　び　技　能 】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的に捉えて理解し、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、相互の関連や現在とのつながりなどに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史にみられる課題を把握し、解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　日本史探究　の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明する。構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を身につける。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	現代日本の政治 【知識及び技能】 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、日本国憲法の特徴などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 個人の尊厳と基本的人権の尊重、日本国憲法と現代政治のあり方との関連および望ましい政治のあり方ならびに主権者としての政治参加のあり方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決させる。	・教科書、補助教材 自作プリント ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、日本国憲法の特徴などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 個人の尊厳と基本的人権の尊重、日本国憲法と現代政治のあり方との関連および望ましい政治のあり方ならびに主権者としての政治参加のあり方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	現代日本の政治② 【知識及び技能】 国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるか多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決させる。	・教科書、補助教材 自作プリント ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるか多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

2学期	現代日本の経済 【知識及び技能】 経済活動の特徴、資本主義経済の成立と変容、社会主義経済と新自由主義について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 資本主義経済の特徴に着目し、資本主義経済が今日の世界経済の主流となったのはなぜか多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の資本主義経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決させる。	・教科書、補助教材 自作プリント ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 経済活動の特徴、資本主義経済の成立と変容、社会主義経済と新自由主義について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 資本主義経済の特徴に着目し、資本主義経済が今日の世界経済の主流となったのはなぜか多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の資本主義経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	現代日本の経済② 【知識及び技能】 戦後復興から高度経済成長の終焉までの日本経済の変遷と産業構造の変化について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決させる。	・教科書、補助教材 自作プリント ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 戦後復興から高度経済成長の終焉までの日本経済の変遷と産業構造の変化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3学期	現代の国際政治・経済 【知識及び技能】 現代日本における政治・経済および国際政治の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本における政治・経済および国際政治の諸課題について、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代日本における政治・経済および国際政治の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かわせる。	・教科書、補助教材 自作プリント ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 現代日本における政治・経済および国際政治の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本における政治・経済および国際政治の諸課題について、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代日本における政治・経済および国際政治の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かおうとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計 70

東京都立神津高等学校 令和8年度(3学年) 教科　保健体育　科目　体育

教　科: 保健体育　科　目:体育　　単位数:3　　対象学年:第3学年A組

使用教科書:(現代高等保健体育　大修館書店)

教科　保健体育　の目標:

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに，技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断　力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　体育　の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的，計画的な実践を通して，運動の楽しさや喜びを深く味わい，生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため，運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに，それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の責任を果たす，参画する，一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに，健康・安全を確保して，生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 体つくり運動 【知識及び技能】 体ほぐしの運動では，手軽な運動を行い，心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き，仲間と主体的に関わり合うこと。 実生活に生かす運動の計画では，自己のねらいに応じて，健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むこと。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 体つくり運動に主体的に取り組むとともに，互いに助け合い高め合おうとすること，一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすることなどや，健康･安全を確保すること。	・体ほぐしの運動 ・体の動きを高める運動 ・実生活に生かす運動の計画 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ･体つくり運動では，自己のねらいに応じて，効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることを理解している。 ･体力の構成要素は，健康に生活するための体力と運動を行うための体力に密接に関係していることを理解している。 ･実生活への取り入れ方には，自己のねらいに応じた様々な運動の計画などがあることを理解している。 ･課題解決の方法には，自己に応じた目標の設定，目標を達成するための課題の設定，課題解決のための運動例の選択とそれに基づく計画の作成及び実践，学習成果の確認，新たな目標の設定といった過程があることを理解している。 【思考・判断・表現】 ･生活様式や体力の程度を踏まえ，自己のねらいに応じた運動の計画を立案している。 ･運動に取り組む場面で，自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を提案している。 ･仲間との話合いの場面で，合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 ･体力の程度や性別等の違いを超えて，仲間とともに体つくり運動を楽し	○	○	○	10

			むための調整の仕方を見付けている。 ・体つくり運動の学習成果を踏まえて，自己に適した「する，みる，支える，知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体つくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・仲間に課題を伝え合うなど，互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。 ・課題解決に向けて話し合う場面で，合意形成に貢献しようとすること。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど，健康・安全を確保すること。				
	B ソフトボール 【知識及び技能】 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃，安定したボー ル操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどや，健康・安全を確保できるようにする。	・キャッチボール ・バッティング ・状況に応じた守備の練習 ・ゲーム ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・ソフトボールの技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解している。 ・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃，安定したボー ル操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ソフトボールの学習に主体的に取り組もうとしている ・フェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などを話し合う場面で，合意形成に貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ・仲間の課題を指摘するなど，互いに助け合い高め合おうとしている。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど，健康・安全を確保している。	○	○	○	13
	C 水泳 【知識及び技能】 クロールでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。 平泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，伸びのある動作と安定したペースで長く泳い	・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ ・バタフライ ・複数の泳法で長く泳ぐ ・海難救助法 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・水泳では，各種目や運動の局面ごとに技術の名称があり，それぞれの技術には，効率のよい泳ぎにつながる重要な動きのポイントや安全で合理的，計画的な練習の仕方があることを理解している。 ・水泳の種目によって必要な体力要素があり，その種目の技能に関連させながら体力を高めることができている。	○	○	○	13

	だり速く泳いだりすることができるようにする。 背泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。 バタフライでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。 複数の泳法で長く泳ぐこと又はリレーをすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを 他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に主体的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康･安全を確保できるようにする。		･課題解決の方法には，自己に応じた目標の設定，目標を達成するための課題の設定，課題解決のための練習法などの選択と実践，記録会などを通した学習成果の確認，新たな目標の設定といった過程があることを理解している。 ･競技会や記録会で，競技のルール，運営の仕方や役割に応じた行動の仕方，全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・選択した泳法について，自己や仲間の動きを分析して，良い点や修正点を指摘している。 ･課題解決の過程を踏まえて，自己や仲間の新たな課題を発見している。 ･自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ･練習や競技会などの場面で，自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を提案している。 ･バディやグループでの学習で，状況に応じて自己や仲間の役割を提案している。 ･体力や技能の程度，性別等の違いを超えて，仲間とともに水泳を楽しむための調整の仕方を見付けている。 ･水泳の学習成果を踏まえて自己に適した「する，みる，支える，知る」などの生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ･水泳の学習に主体的に取り組もうとしている。 ･勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとしている。 ･役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。 ･一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ･ 水泳の事故防止の心得を遵守し，危険の予測をしながら回避行動をとるなど，健康･安全を確保している。				
	D 体育理論 【知識及び技能】 スポーツは，各ライフステージにおける身体的，心理的，社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があること。また，その楽しみ方は，個人のスポーツに対する欲求などによっても変化することを理解できるようにする。	・生涯スポーツの見方・考え方 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・スポーツには，乳・幼児期から高齢期に至るライフステージごとに，体格や体力の変化などに見られる身体的特徴，精神的ストレスの変化などに見られる心理的特徴，人間関係や所属集団の変化などに見られる社会的特徴に応じた多様な楽し	○	○	○	2

	【思考力、判断力、表現力等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について，課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えることをできるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組むことをできるようにする。		み方があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方は，個人のスポーツ経験や学習によって育まれたスポーツに対する欲求や考え方，健康や体力を求める必要性や個人の健康目標などによっても変化するものであることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生涯にわたって「する，みる，支える，知る」などのスポーツを多様に継続するためには，ライフステージに応じたスポーツの楽しみ方を見付けることに加え，それぞれの生き方や暮らし方といったライフスタイルに応じた無理のないスポーツへの関わり方が大切であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方やライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について，自己や自己を取り巻く環境の変化を予想し，自己や社会についての課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に，主体的に取り組もうとしている。				
2学期	E ダンス 【知識及び技能】 感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり，自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい，ダンスの名称や用語，文化的背景と表現の仕方，交流や発表の仕方，課題解決の方法，体力の高め方などを理解するとともに，それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを 他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】	・基本的なステップ ・課題ダンス ・グループ創作 ・発表会 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・ダンスの名称や用語，文化的背景と表現の仕方，交流や発表の仕方，課題解決の方法，体力の高め方などを理解している。 ・創作ダンスでは，表したいテーマにふさわしいイメージを捉え，個や群で，対極の動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり，イメージを強調した作品にまとめたりして踊ることができる。 ・現代的なリズムのダンスでは，リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり，変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊ることができる。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを 他者に伝えている。	○	○	○	13

	ダンスに主体的に取り組むとともに，互いに共感し高め合おうとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとすることなどや，健康･安全を確保することができるようにする。		【主体的に学習に取り組む態度】 ・ダンスに主体的に取り組むとともに，互いに共感し高め合おうとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとすることなどをしたり，健康･安全を確保したりしている。				
	F バスケットボール 【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい，技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解するとともに，作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空 間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 バスケットボールに主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどや，健康･安全を確保することができるようにする。	・シュート ・パス ・ドリブル ・戦術 ・ゲーム ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解している。 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空 間への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・バスケットボールに主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり，健康･安全を確保したりしている。	○	○	○	13
	G バレーボール 【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい，技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解するとともに，作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動き によって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。	・パス ・スパイク ・サーブ ・戦術 ・ゲーム ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解している。 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動き によって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えている。	○	○	○	13

	【思考力、判断力、表現力等】 　生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 　バレーボールに主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどや，健康･安全を確保することができるようにする。		【主体的に学習に取り組む態度】 ・バレーボールに主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどをし，健康･安全を確保している。				
	H 体育理論 【知識及び技能】 生涯にわたってスポーツを継続するためには，ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方を見付けること，仕事と生活の調和を図ること，運動の機会を生み出す工夫をすることなどが必要であることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について，課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えることをできるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組むことをできるようにする。	・ライフスタイルに応じたスポーツ ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 ・生涯にわたって「する，みる，支える，知る」などのスポーツを多様に継続するためには，ライフステージに応じたスポーツの楽しみ方を見付けることに加え，それぞれの生き方や暮らし方といったライフスタイルに応じた無理のないスポーツへの関わり方が大切であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・ライフステージやライフスタイルによっては，仕事の種類や暮らし方によって運動に関わる機会が減少することもあるため，仕事と生活の調和を図ること，運動の機会を生み出す工夫をすること，多様な関わり方を実現するための具体的な設計の仕方があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【・生涯にわたって「する，みる，支える，知る」などのスポーツを多様に継続するためには，ライフステージに応じたスポーツの楽しみ方を見付けることに加え，それぞれの生き方や暮らし方といったライフスタイルに応じた無理のないスポーツへの関わり方が大切であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・ライフステージやライフスタイルによっては，仕事の種類や暮らし方によって運動に関わる機会が減少することもあるため，仕事と生活の調和を図ること，運動の機会を生み出す工夫をすること，多様な関わり方を実現するための具体的な設計の仕方があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	2

			思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に，主体的に取り組もうとしている				
3学期	I バドミントン 【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい，技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解するとともに，作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 バドミントンに主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどや，健康･安全を確保することができるようにする。	・クリア ・ヘアピン ・ドロップ ・ロビング ・スマッシュ ・ドライブ ・サービス ・シングルス ・ダブルス ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解している。 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動き によって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・バドミントンに主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり，健康･安全を確保したりしている	○	○	○	12
	J 卓球 【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい，技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解するとともに，作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】	・フォアハンド ・バックハンド ・サービス ・スマッシュ ・ツッツキ ・シングルス ・ダブルス ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解している。 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動き によって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えている。	○	○	○	12

	生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 卓球に主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどや，健康･安全を確保することができるようにする。		【主体的に学習に取り組む態度】 ・卓球に主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり，健康･安全を確保したりしている				
	K 体育理論 【知識及び技能】 スポーツの推進は，様々な施策や組織，人々の支援や参画によって支えられていることを理解できるようにする。 人生に潤いをもたらす貴重な文化的資源として，スポーツを未来に継承するためには，スポーツの可能性と問題点を踏まえて適切な「する，みる，支える，知る」などの関わりが求められることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について，課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えることをできるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組むことをできるようにする。	・スポーツを推進する取り組み ・豊かなスポーツライフの創造 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・・国や地方自治体は，スポーツの推進のために様々な施策を行っており，人や財源，施設や用具，情報などを人々に提供するなどの条件整備を行っていること，また，スポーツの推進を支援するために，企業や競技者の社会貢献，スポーツボランティアや非営利組織（NPO 等）などが見られるようになっていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・スポーツを，人生に潤いをもたらす貴重な文化的財産として未来に継承するためには，スポーツには健康で生き生きとした生活をもたらしたり，様々な人々とつながったりするなどの可能性がある反面，過度な運動による健康への悪影響や勝利を優先する余り人間関係を悪化させるなどの問題点があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・人生に潤いをもたらす適切な関わり方を継続するためには，「する」だけでなく，豊かなスポーツライフを実現するための「みる」，「支える」，「知る」などの卒業後のスポーツへの多様な関わり方を構想したり，設計したりすることが重要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・豊かなスポーツライフが広がる未来の社会について，これまで学習したことを基に，将来の自己のスポーツ設計や未来の社会についての自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に，主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2 合計 105

東京都立神津高等学校　令和8年度　教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅢ

教 科: 外国語 科 目:英語コミュニケーションⅢ 単位数:3 対象学年組:第 3学年

使用教科書:(三省堂『MY WAY English Communication Ⅲ』

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際 のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりできる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢの目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実際に英語を用いた言語活動を通して、学習指導要領に示された言語材料について理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当時数
			聞	読	話【や】	話【発】	書					
1学期	A 単元 Lesson1 【知識及び技能】 〇外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり	・異文化や SDGs に関する新聞記事を読む。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 〇外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	○	○	○	12

	書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。							【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
	B 単元 Lesson2 【知識及び技能】 〇外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持っ	・新元素ニホニウムに関する雑誌記事を読む。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	〇	〇	〇	〇	〇	【知識及び技能】 〇外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコ	〇	〇	〇	12

	て、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。】							ミュニケーションを図ろうとしている。				
	定期考査		○	○			○		○	○		1
	C 単元 Lesson3 【知識及び技能】 ○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている	・お茶の消費量の多い国に関する講義を聞き取る。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	○	○	○	12
	D 単元 Lesson4 【知識及び技能】 ○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて	・折り紙に関するプレゼンテーションを聞き取る。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。	○	○	○	12

	活用できる知識・技能を身に付けさせる。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている							〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
	定期考査		〇	〇			〇		〇	〇		1
2学期	E Lesson5 【知識及び技能】 〇外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や	・英語のスペリングに関するブログを読む。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	〇	〇	〇	〇	〇	【知識及び技能】 〇外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外	〇	〇	〇	12

	考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている							国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
	F Lesson6 【知識及び技能】 〇外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に	・ナスカの地上絵に関する記事を読む。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	〇	〇	〇	〇	〇	【知識及び技能】 〇外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の	〇	〇	〇	11

	配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている							意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
	定期考査		〇	〇			〇		〇	〇		1
	G 『パワーマックス』第１回 【知識及び技能】 〇外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている	・補助教材を用いた問題演習 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	〇					【知識及び技能】 〇外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	〇	〇	〇	10

	H 『パワーマックス』第 2 回 【知識及び技能】 〇外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている	・補助教材を用いた問題演習 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	〇					【知識及び技能】 〇外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	〇	〇	〇	10
	定期考査		〇	〇			〇		〇	〇		1

3学期	I 『パワーマックス』第 3 回 【知識及び技能】 〇外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている	・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	〇					【知識及び技能】 〇外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	〇	〇	〇	10 合計 105

東京都立神津高等学校（３学年） 令和８年度　　教科 外国語　科目 英語会話

教 科: 外国語　科 目:英語会話　単位数:3　　対象学年組:第 3 学年 A 組

使用教科書:（OXFORD『Get Ahead Student Book』）

教科 外国語 の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際 のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

科目 英語会話の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、話すこと、を中心とした実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当時数
			聞	読	話【やり】	話【発】	書					
1学期	A 単元 Unit 1 Our class 【知識及び技能】 〇外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	左の目標に書かかれた内容を指導する。 ・教材（ワークシート） ・一人1台端末の活用 ・一人で発表する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 〇外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等	○	○	○	22

	○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。							○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
	B 単元 Unit2 Look at me! 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分	左の目標に書かかれた内容を指導する。 ・教材(ワークシート) ・一人1台端末の活用 ・グループで発表する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	○	○	○	22

	の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。											
	パフォーマンステスト	Mission: Make a poster Method: Work by yourself or in a group	〇	〇	〇	〇	〇		〇	〇	〇	1
2学期	C 単元 Unit 3 On the weekend 【知識及び技能】 〇外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国	左の目標に書かかれた内容を指導する。 ・教材(ワークシート) ・一人1台端末の活用 ・一人で発表する	〇	〇	〇	〇	〇	【知識及び技能】 〇外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	〇	〇	〇	22

	語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。											
	D 単元 Unit 4 Time for school 【知識及び技能】 〇外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	左の目標に書かかれた内容を指導する。 ・教材(ワークシート) ・一人1台端末の活用 ・グループで発表する	〇	〇	〇	〇	〇	【知識及び技能】 〇外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	〇	〇	〇	22
	パフォーマンステスト	Mission: Make a poster Method: Work by yourself or in a group	〇	〇	〇	〇	〇		〇	〇	〇	1

3学期	I 単元 Unit 5 Put on your boots! 【知識及び技能】 〇外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	左の目標に書かかれた内容を指導する。 ・教材(ワークシート) ・一人1台端末の活用 ・一人で発表する	〇	〇	〇	〇	〇	【知識及び技能】 〇外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	〇	〇	〇	13
	パフォーマンステスト	Mission: Make a poster Method: Work by yourself or in a group	〇	〇	〇	〇	〇		〇	〇	〇	2	
												合計 105	

東京都立神津高等学校 令和8年度(3学年)　　教科 国語 科目 現代文演習

教　科: 国語　　科　目:現代文演習　　単位数:2　　単位対象学年組:第　3　学年　A　組

使用教科書:(　なし　)

教科 国語の目標:

【知　識　及　び　技　能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国に言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代文演習　の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代文の長文読解問題を解くために必要な語彙力、読解方策を身につけ、大学入学共通テストレベルまで引き上げる。	現代文の長文読解問題における選択肢問題や記述問題を解くために必要な思考力・判断力・表現力を養成する。	論理的文章や文学的文章への理解を深め、読解力を身につけようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元 現代文読解基礎習得 【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。評論文読解に必要な基本的な語彙力を養成する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握する 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝える。	・一人1台端末の活用 ・指導事項 指示内容の把握 対比関係 人称 具体と抽象 心情把握 新傾向問題の読解		○	○	【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。評論文読解に必要な基本的な語彙力を養成している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝えようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
	B 単元 現代文読解基礎演習 【知識及び技能】 ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形	・一人1台端末の活用 ・指導事項 強調や疑問の表現について 問題定義と結論		○	○	【知識及び技能】 ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解している。	○	○	○	12

	式など、文章の構成や展開のしかたについて理解する。 ・主張とその根拠や前提となる情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に、学習課題に沿って、学術的な文章の構成や展開を的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握する。	象徴的な描写の読み取り 抽象語の内実について				・主張とその根拠や前提となる情報との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に、学習課題に沿って、学術的な文章の構成や展開を的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握しようとしている。				
	定期考査						○	○		1
2学期	C単元 現代文読解上級演習 【知識及び技能】 ・効果的な段落の構造について理解を深める。 ・主張とその前提や反証などの関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 内容や形式について、積極的に批評したり討論したりすることをとおして、その構成や展開を的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。	・一人1台端末の活用 ・指導事項 引用の意図を読み取る 心象風景 表現形式 比喩表現 場面設定と心情描写		○	○	【知識及び技能】 ・効果的な段落の構造について理解を深めている。 ・主張とその前提や反証などの関係について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 内容や形式について、積極的に批評したり討論したりすることをとおして、その構成や展開を的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握しようとしている。				12
	定期考査						○	○		1
	D単元 大学入学共通テスト演習 【知識及び技能】 ・大学入学共通テストを読解するために必要な語彙力を養成する。	・一人1台端末の活用 ・指導事項 選択肢問題の消去法 文章読解のマーキング方法		○	○	【知識及び技能】 ・大学入学共通テストを読解するために必要な語彙力を養成している。 【思考力、判断力、表現力等】				12

	【思考力、判断力、表現力等】 ・大学入学共通テストにおいて、文章の種類に応じて、内容や構成、論理展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大学入学共通テストの問題演習に真摯に取り組み、必要な読解力を身につけようとしている。	文章構成の把握について 表現技法				・大学入学共通テストにおいて、文章の種類に応じて、内容や構成、論理展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大学入学共通テストの問題演習に真摯に取り組み、読解力を身につけようとしている。				
	定期考査						○	○		1
3学期	E単元 大学過去問演習 【知識及び技能】 ・大学過去問を読解するために必要な語彙力を養成する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・大学過去問において、文章の種類に応じて、内容や構成、論理展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大学過去問の問題演習に真摯に取り組み、必要な読解力を身につけようとしている。	・一人1台端末の活用 ・指導事項 記述問題について 空欄補充問題について 並べ替え問題について		○	○	【知識及び技能】 ・大学過去問を読解するために必要な語彙力を養成している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・大学過去問において、文章の種類に応じて、内容や構成、論理展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大学過去問の問題演習に真摯に取り組み、必要な読解力を身につけようとしている。				17
	定期考査						○	○		1 70

東京都立神津高等学校 令和８年度（３学年） 教科　地歴公民 科目　日本史総合

教　科：地歴公民　　科　目：　日本史総合　　単位数：　４　　対象学年組：第３学年Ａ組

使用教科書：（山川出版社『詳説日本史』　浜島書店『新詳日本史』）

教科 地歴公民の目標：

【 知識及び技能 】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　日本史探究　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	近代の日本と世界① 【知識及び技能】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や　世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、　諸資料から、近代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとする態度を養う。	・教科書、補助教材 自作プリント ・一人１台端末の活用	【知識及び技能】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる　諸事象について、地理的条件や世界の　歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、近代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を　身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる　諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとする態度を養う。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1

	近代の日本と世界② 【知識及び技能】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や　世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、　諸資料から、近代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとする態度を養う。	・教科書、補助教材 自作プリント ・一人１台端末の活用	【知識及び技能】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる　諸事象について、地理的条件や世界の　歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、近代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を　身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる　諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとする態度を養う。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
２学期	近代の日本と世界③ 【知識及び技能】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や　世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、　諸資料から、近代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとする態度を養う。	・教科書、補助教材 自作プリント ・一人１台端末の活用	【知識及び技能】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる　諸事象について、地理的条件や世界の　歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、近代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を　身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる　諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとする態度を養う。	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
	戦後の日本 【知識及び技能】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や　世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、近代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察した	・教科書、補助教材 自作プリント ・一人１台端末の活用	【知識及び技能】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる　諸事象について、地理的条件や世界の　歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、近代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を　身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる　諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明した	○	○	○	29

	ことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとする態度を養う。		り、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる　諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとする態度を養う。				
	定期考査			○	○		1
３学期	問題演習 【知識及び技能】 ・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに　着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に　みられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を　視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して　涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての　自覚などを深める。	・教科書、補助教材 自作プリント ・一人１台端末の活用	【知識及び技能】 ・我が国の歴史の展開に関わる諸事象に　ついて，地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に　調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに　着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・我が国の歴史の展開に関わる諸事象に　ついて、よりよい社会の実現を　視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して　涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する　愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	○	○	○	26 合計 140

東京都立神津高等学校 令和8年度(3学年) 教科　数学科　　科目　数学C
教　科: 数学　　科目: 数学C　　単位数:2　　単位対象学年組:第3 学年A組

使用教科書:(数研出版『数学C』)

教科 数学の目標:

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Cの目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元:平面上のベクトル 【知識及び技能】 (ア)平面上のベクトルの意味，相等，和，差，実数倍，位置ベクトル，ベクトルの成分表示について理解すること。 (イ)ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解すること。 (ウ)座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 (ア)実数などの演算の法則と関連付けて，ベクトルの演算法則を考察すること。 (イ)ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて，平面図形や空間図形の性質を見いだしたり，多面的に考察したりすること。 (ウ)数量や図形及びそれらの関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用すること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・平面上のベクトルの意味，相等，和，差，実数倍，位置ベクトル，ベクトルの成分表示について理解している。 ・ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解している。 ・座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・実数などの演算の法則と関連付けて，ベクトルの演算法則を考察することができる。 ・ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて，平面図形や空間図形の性質を見いだしたり，多面的に考察したりすることができる。 ・数量や図形及びそれらの関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用することができる。※例 5～1	○	○	○	20

	(ア)日常の事象を数理的に捉え，数学的に表現・処理し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする活動 (イ)数学の事象から問題を見いだし解決したり，解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする活動 (ウ)数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合う活動		【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。				
2学期	A 単元:空間のベクトル 【知識及び技能】 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて，平面図形や空間図形の性質を見いだしたり，多面的に考察したりすること。 数量や図形及びそれらの関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 (ア)日常の事象を数理的に捉え，数学的に表現・処理し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする活動 (イ)数学の事象から問題を見いだし解決したり，解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする活動 (ウ)数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合う活動	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・数量や図形及びそれらの関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	14
	B 単元:複素数平面 【知識及び技能】 複素数平面と複素数の極形式，複素数の実数倍，和，差，積及び商の図形的な意味を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 複素数平面における図形の移動などと関連付けて，複素数の演算や累乗根などの意味を考察すること。 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして，媒介変数や極座標及び複素数平面の考えを問題解決に活用したり，解決の過程を振り返って事	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・複素数平面と複素数の極形式，複素数の実数倍，和，差，積及び商の図形的な意味を理解している。 ・ド・モアブルの定理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，複素数平面の考えを問題解決に活用したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴やほかの事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	16

	象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 （ア）日常の事象を数理的に捉え，数学的に表現・処理し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする活動 （イ）数学の事象から問題を見いだし解決したり，解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする活動 （ウ）数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合う活動		・事象を複素数平面の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的な論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとしたりしている。				
3学期	A 単元:式と曲線 【知識及び技能】 （ア）放物線，楕円，双曲線が二次式で表されること及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解すること。 （イ）曲線の媒介変数表示について理解すること。 （ウ）極座標の意味及び曲線が極方程式で表されることについて理解すること。 （エ）複素数平面と複素数の極形式，複素数の実数倍，和，差，積及び商の図形的な意味を理解すること。 （オ）ド・モアブルの定理について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 （ア）放物線，楕円，双曲線を相互に関連付けて捉え，考察すること。 （イ）複素数平面における図形の移動などと関連付けて，複素数の演算や累乗根などの意味を考察すること。 （ウ）日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして，媒介変数や極座標及び複素数平面の考えを問題解決に活用したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 （ア）日常の事象を数理的に捉え，数学的に表現・処理し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする活動 （イ）数学の事象から問題を見いだし解決したり，解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする活動	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・放物線，楕円，双曲線が 2 次式で表されること及びそれらの 2 次曲線の基本的な性質について理解している。 ・曲線の媒介変数表示について理解している。 ・極座標の意味及び曲線が曲方程式で表されることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・放物線，楕円，双曲線を相互に関連付けて捉え，考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして，媒介変数表示や極座標の考えを問題解決に活用したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴やほかの事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を平面上の曲線の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとしたりしている。	○	○	○	20

	（ウ）数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合う活動						合計 70

東京都立神津高等学校 令和8年度(3学年)　　教科:理科　科目:化学

教科:理科　　科目:化学　　単位数:4　　対象学年組:第3学年A組

使用教科書:東京書籍 『新編化学』

教科 理科　の目標:

【 知識及び技能 】自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究する態度を養う。

科目　化学の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学的な事物・現象についての観察、実験などを行うことを通して、化学の基本的な概念や原理・法則を理解している。また、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	化学的な事物・現象を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得している。また、報告書を作成したり、発表したりして、科学的に探究する力を身に付けている。	化学的な事物・現象に対して、主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする。また、科学的に探究しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元1　物質の状態と平衡 　1節　状態変化 　2節　固体の構造 　3節　気体の性質 　4節　溶液 【知識及び技能】 　・物質の構造と沸点・融点の関係について、基本的概念や知識を身につけている。 ・状態の平衡と粒子の熱運動について、基本的な原理や知識を理解している。 ・結晶構造について、基本的な知識を身につけており、結晶とアモルファスの違いについて理解している。 ・ボイル・シャルルの法則を理解し、知識として身につけている。 ・気体の状態方程式の原理を理解し、関連問題を解くことができる。 ・溶解のしくみについて、基本的原理と知識を身につけている。 ・溶解度の定義や法則を理解している。 ・沸点上昇、蒸気圧降下、浸透圧などの溶液の性質について、その基本原理と知識を身につけている。 ・コロイド溶液について、その基本概念と性質を、実験を通して理解し、知識として身につけている。	・指導事項 実験1「100℃以下での水の沸騰」 実験2「ガラスの性質の確認」 実験3「シャルルの法則」 実験4「凝固点降下度の測定」 実験5「コロイド溶液の性質」 ・教材 　教科書 　問題集 　スタディーサプリ ・一人1台端末の活用　等	【知識及び技能】 　・物質の構造と沸点・融点の関係について、基本的概念や知識を身につけている。 ・状態の平衡と粒子の熱運動について、基本的な原理や知識を理解している。 ・結晶構造について、基本的な知識を身につけており、結晶とアモルファスの違いについて理解している。 ・ボイル・シャルルの法則を理解し、知識として身につけている。 ・気体の状態方程式の原理を理解し、関連問題を解くことができる。 ・溶解のしくみについて、基本的原理と知識を身につけている。 ・溶解度の定義や法則を理解している。 ・沸点上昇、蒸気圧降下、浸透圧などの溶液の性質について、その基本原理と知識を身につけている。	○	○	○	30

	・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物質の構造が沸点・融点に大きく影響していることを考えることができる。 ・平衡状態における粒子のふるまいについて推論することができ、モデルで表現することができる。 ・結晶構造を理解し、モデルで表現することができる。 ・結晶とアモルファスの違いについて理解し、説明することができる。 ・気体の温度、体積、圧力の関係を論理的に考え、基本的な計算で導くことができる。 ・気体の状態方程式について、その関係性を理解し、計算することができる。 ・溶液の溶解の仕方について、その液性と関連付けて理論的に考えることができる。 ・溶解度について理解し、計算することができる。 ・沸点上昇、凝固点降下、浸透圧などについて理解し、それをもとにした計算をすることができる。 ・コロイド溶液の性質について、推論することができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い，考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物質の構造と融点・沸点の関係に関心を持ち、それらを意欲的に探究しようとする。 ·物質の平衡と粒子の熱運動に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 ・結晶の構造について興味をもち、意欲的に探究しようとする。 ・気体の温度、体積、圧力の関係に関心をもち、探究しようとする。 ・気体において成り立つ気体の状態方程式について、その導き方と計算方法について探究しようとする。 ・物質の溶解の仕方と溶解度について関心を持ち、探究しようとする。 ・溶液の性質に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 ・コロイド溶液について、その性質やふるまいに関心を持ち、意欲的に探究しようとする。		・コロイド溶液について、その基本概念と性質を、実験を通して理解し、知識として身につけている。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物質の構造が沸点・融点に大きく影響していることを考えることができる。 ・平衡状態における粒子のふるまいについて推論することができ、モデルで表現することができる。 ・結晶構造を理解し、モデルで表現することができる。 ・結晶とアモルファスの違いについて理解し、説明することができる。 ・気体の温度、体積、圧力の関係を論理的に考え、基本的な計算で導くことができる。 ・気体の状態方程式について、その関係性を理解し、計算することができる。 ・溶液の溶解の仕方について、その液性と関連付けて理論的に考えることができる。 ・溶解度について理解し、計算することができる。 ・沸点上昇、凝固点降下、浸透圧などについて理解し、それをもとにした計算をすることができる。 ・コロイド溶液の性質について、推論することができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い，考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物質の構造と融点・沸点の関係に関心を持ち、それらを意欲的に探究しようとする。 ·物質の平衡と粒子の熱運動に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 ・結晶の構造について興味をもち、意欲的に探究しようとする。 ・気体の温度、体積、圧力の関係に関心をもち、探究しようとする。 ・気体において成り立つ気体の状態方程式について、その導き方と計算方法について探究しようとする。				

			・物質の溶解の仕方と溶解度について関心を持ち、探究しようとする。 ・溶液の性質に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 ・コロイド溶液について、その性質やふるまいに関心を持ち、意欲的に探究しようとする。				
	単元2　物質の変化と平衡 　1節　化学反応と熱・光エネルギー 　2節　電池と電気分解 　3節　反応の速さとしくみ 　4節　化学平衡 【知識及び技能】 ・化学反応と熱エネルギーの関係について、基本的概念を理解し、エンタルピーの表記を使用して熱の出入りを示すことができる。 ・化学反応と光エネルギーの関係について、具体例をもとに、基本的概念を理解している。 ・電池と電気分解のしくみについて理解し、電気量と物質量の関係から、関連問題を解くことができる。 ・反応速度に影響する条件を理解し、その知識をもとに反応のしくみを理解している。 ・化学平衡について、その概念、原理、法則を理解している。 ・化学平衡の移動の原理を理解している。 ・電離平衡について、酸・塩基と関連付けて、その原理を理解している。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・化学反応と熱エネルギーの関係について理解し、その性質や法則を論理的に考えることができる。 ・化学反応と光エネルギーの関係について理解し、論理的に考えることができる。 ・化学反応と電気エネルギーの関係について理解し、酸化還元反応と関連させて論理的に考えることができる。 ・反応の速さを決める条件やそのしくみを理解し、反応のしくみについて論理的に推論することができる。 ・化学平衡について、その原理と法則を論理的に理解することができる。 ・平衡の移動について論理的に説明することができる。 ・電離平衡について、酸・塩基の概念と共に理解し、説明することができる。また、pH を計算することができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い，考察することができる。	・指導事項 実験6「ヘスの法則」 実験7「ルミノール反応」 実験8「鉛蓄電池」 実験9「反応速度と濃度・温度の影響」 実験10「酢酸の電離定数」 ・教材 　教科書 　問題集 　スタディーサプリ ・一人1台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・化学反応と熱エネルギーの関係について、基本的概念を理解し、エンタルピーの表記を使用して熱の出入りを示すことができる。 ・化学反応と光エネルギーの関係について、具体例をもとに、基本的概念を理解している。 ・電池と電気分解のしくみについて理解し、電気量と物質量の関係から、関連問題を解くことができる。 ・反応速度に影響する条件を理解し、その知識をもとに反応のしくみを理解している。 ・化学平衡について、その概念、原理、法則を理解している。 ・化学平衡の移動の原理を理解している。 ・電離平衡について、酸・塩基と関連付けて、その原理を理解している。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・化学反応と熱エネルギーの関係について理解し、その性質や法則を論理的に考えることができる。 ・化学反応と光エネルギーの関係について理解し、論理的に考えることができる。 ・化学反応と電気エネルギーの関係について理解し、酸化還元反応と関連させて論理的に考えることができる。 ・反応の速さを決める条件やそのしくみを理解し、反応のしくみについて論理的に推論することができる。 ・化学平衡について、その原理と法則を論理的に理解することができる。	○	○	○	30

	【学びに向かう力、人間性等】 ・化学反応とエネルギーの関係について関心を持ち、熱エネルギーと光エネルギーについて探究しようとする。 ・化学反応とエネルギーの関係について関心を持ち、電気エネルギーについて探究しようとする。 ・反応の速さに関する事象・現象に関心を持ち、反応のしくみを探究しようとする。 ・化学反応における可逆反応、化学平衡に興味を持ち、その現象について探究しようとする。 ・化学平衡における移動、利用について探究しようとする。		・平衡の移動について論理的に説明することができる。 ・電離平衡について、酸・塩基の概念と共に理解し、説明することができる。また、pH を計算することができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い，考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・化学反応とエネルギーの関係について関心を持ち、熱エネルギーと光エネルギーについて探究しようとする。 ・化学反応とエネルギーの関係について関心を持ち、電気エネルギーについて探究しようとする。 ・反応の速さに関する事象・現象に関心を持ち、反応のしくみを探究しようとする。 ・化学反応における可逆反応、化学平衡に興味を持ち、その現象について探究しようとする。 ・化学平衡における移動、利用について探究しようとする。				
	定期考査			○	○		1
2学期	単元3　無機物質 　1節　周期表 　2節　非金属元素 　3節　金属元素 【知識及び技能】 ・周期表における各元素の配置、性質を理解している。 ・非金属元素の単体、化合物において、それぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身につけている。 ・金属元素の単体、化合物において、それぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身につけている。 ・人間生活で利用されている無機物質について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・金属イオンについて、それぞれの反応性を理解し、イオンを分離する方法を身につけている。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・無機物質の性質を周期表と関連付けて理解することができる。 ・それぞれの非金属元素の単体、化合物において、その性質や反応を論理的に類推、考察することができる。また、実験を通して判断することができる。	・指導事項 実験11「ハロゲン単体の酸化力」 実験12「硫化水素の発生」 実験13「アルカリ金属の単体と水との反応性」 実験14「鉄(Ⅱ)イオンと鉄(Ⅲ)イオンの反応」 実験15「銅(Ⅱ)イオンの反応」 実験16「銀イオンの反応」 実験17「金属イオンの分離と確認」 ・教材 教科書 問題集	【知識及び技能】 ・周期表における各元素の配置、性質を理解している。 ・非金属元素の単体、化合物において、それぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身につけている。 ・金属元素の単体、化合物において、それぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身につけている。 ・人間生活で利用されている無機物質について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・金属イオンについて、それぞれの反応性を理解し、イオンを分離する方法を身につけている。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・無機物質の性質を周期表と関連付けて理解することができる。 ・それぞれの非金属元素の単体、化合物において、その性質や反応を論理的に類推、考察することができる。また、実験を通して判断することができる。	○	○	○	25

	・それぞれの金属元素の単体、化合物の性質や反応を論理的に類推、考察することができる。また、実験を通して判断することができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い，考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・周期表における元素の配置に興味を持ち、各元素の分類を探究しようとする。 ・それぞれの非金属元素の単体、化合物について関心を持ち、その製法や性質、反応性について意欲的に探究しようとする。 ・それぞれの金属元素の単体、化合物について関心を持ち、その製法や性質、反応性について意欲的に探究しようとする。 ・人間生活に利用されている無機物質について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。	スタディーサプリ ・一人１台端末の活用　等	・それぞれの金属元素の単体、化合物の性質や反応を論理的に類推、考察することができる。また、実験を通して判断することができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い，考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・周期表における元素の配置に興味を持ち、各元素の分類を探究しようとする。 ・それぞれの非金属元素の単体、化合物について関心を持ち、その製法や性質、反応性について意欲的に探究しようとする。 ・それぞれの金属元素の単体、化合物について関心を持ち、その製法や性質、反応性について意欲的に探究しようとする。 ・人間生活に利用されている無機物質について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。				
	単元4　有機化合物 　1節　有機化合物の特徴と分類 　2節　脂肪族炭化水素 　3節　酸素を含む脂肪族化合物 　4節　芳香族化合物 【知識及び技能】 ・有機化合物の特徴と分類について理解している。 ・有機化合物の構造決定の方法を理解している。 ・炭化水素の構造や反応性、それぞれの関係について理解し、知識として身につけている。 ・異性体について理解している。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 ・芳香族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 ・人間生活で利用されている有機化合物について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・有機化合物の特徴を理解し、分類することができる。	・指導事項 実験18「分子模型の作製」 実験19「メタンの立体構造」 実験20「ヨードホルム反応」 実験21「エステルの合成」 実験22「サリチル酸メチルの合成」 実験23「アゾ化合物の合成」 実験24「有機化合物の分離」 ・教材 　教科書 　問題集 　スタディーサプリ ・一人１台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・有機化合物の特徴と分類について理解している。 ・有機化合物の構造決定の方法を理解している。 ・炭化水素の構造や反応性、それぞれの関係について理解し、知識として身につけている。 ・異性体について理解している。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 ・芳香族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 ・人間生活で利用されている有機化合物について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・有機化合物の特徴を理解し、分類することができる。	○	○	○	30

	・有機化合物の構造決定の手順を理解し、実際に未知の化合物の構造を決定することができる。 ・アルカン、アルケン、アルキンのそれぞれの性質が構造に関連していることを理解し、異性体についても論理的に考察することができる。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・芳香族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い，考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・有機化合物の特徴と分類について探究しようとする。 ・有機化合物の構造決定について意欲的に探究しようとする。 ・アルカン、アルケン、アルキンについて、その構造と性質を意欲的に探究しようとする。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究し、官能基ごとに整理しようとする。 ・芳香族炭化水素について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究しようとする。 ・芳香族化合物について、その代表的な物質の性質や反応性を意欲的に探究しようとする。 ・人間生活に利用されている有機化合物について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。		・有機化合物の構造決定の手順を理解し、実際に未知の化合物の構造を決定することができる。 ・アルカン、アルケン、アルキンのそれぞれの性質が構造に関連していることを理解し、異性体についても論理的に考察することができる。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・芳香族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い，考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・有機化合物の特徴と分類について探究しようとする。 ・有機化合物の構造決定について意欲的に探究しようとする。 ・アルカン、アルケン、アルキンについて、その構造と性質を意欲的に探究しようとする。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究し、官能基ごとに整理しようとする。 ・芳香族炭化水素について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究しようとする。 ・芳香族化合物について、その代表的な物質の性質や反応性を意欲的に探究しようとする。 ・人間生活に利用されている有機化合物について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。				
	単元5　高分子化合物 　1節　高分子化合物 　2節　天然高分子化合物 　3節　合成高分子化合物 【知識及び技能】 ・高分子化合物の分類と特徴について理解している。 ・天然高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 ・合成高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。	・指導事項 実験25「ナイロン 66 の合成」 実験26「合成樹脂の合成」 ・教材 　教科書 　問題集	【知識及び技能】 ・有機化合物の特徴と分類について理解している。 ・有機化合物の構造決定の方法を理解している。 ・炭化水素の構造や反応性、それぞれの関係について理解し、知識として身につけている。 ・異性体について理解している。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解し	○	○	○	15

	・合成高分子化合物について、日常生活および化学工業に関連付けて理解し、知識を身につけている。 ・人間生活で利用されている高分子化合物について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高分子化合物の特徴を理解し、分類することができる。 ・天然高分子化合物について、代表的な物質の構造とその性質、存在例を理解することができる。 ・合成高分子化合物について、代表的な物質の構造とその性質、利用例を理解することができる。また、単量体から高分子化合物の構造式を書くことができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い，考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・高分子化合物の分類と特徴について探究しようとする。 ・天然高分子化合物について、その構造や性質、存在例を意欲的に探究しようとする。 ・合成高分子化合物について、その構造や性質、利用のされ方を意欲的に探究しようとする。 ・人間生活に利用されている高分子化合物について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。	スタディーサプリ ・一人１台端末の活用　等	ている。また、実験によって確かめられる。 ・芳香族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 ・人間生活で利用されている有機化合物について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・有機化合物の特徴を理解し、分類することができる。 ・有機化合物の構造決定の手順を理解し、実際に未知の化合物の構造を決定することができる。 ・アルカン、アルケン、アルキンのそれぞれの性質が構造に関連していることを理解し、異性体についても論理的に考察することができる。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・芳香族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い，考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・有機化合物の特徴と分類について探究しようとする。 ・有機化合物の構造決定について意欲的に探究しようとする。 ・アルカン、アルケン、アルキンについて、その構造と性質を意欲的に探究しようとする。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究し、官能基ごとに整理しようとする。 ・芳香族炭化水素について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究しようとする。 ・芳香族化合物について、その代表的な物質の性質や反応性を意欲的に探究しようとする。 ・人間生活に利用されている有機化合物について興味を持ち、その				

			利用のされ方を積極的に探究しようとする。				
	定期考査			○	○		1
3学期	単元　終章　さまざまな物質と人間生活 　化学が築く未来 【知識及び技能】 ・無機物質、有機化合物、高分子化合物のそれぞれの特徴に着目して、様々な物質がそれぞれの特徴を生かして人間生活の中で利用され、日常生活や社会を豊かにしていることを理解している。 ・資源、エネルギー、情報、生命、環境、材料などに関連する先端の化学に着目して、化学の成果が様々な分野で利用され、未来を築く新しい科学技術の基盤となっていることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日常生活で利用されている物質について、具体的な例をもとに、克服してきた課題や科学技術の発展について、科学的な根拠に基づいて考察することができる。 ・今後の発展が期待されている化学とその応用について、具体的な事例をもとに考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常生活で利用されている物質について、その特徴や技術的な背景について、探究しようとする。 ・今後の発展が期待されている化学とその応用について、科学技術や利用の未来を考察し、探究しようとする。	・指導事項 ・教材 　教科書 　問題集 　スタディーサプリ ・一人1台端末の活用　等	【知識及び技能】 ・無機物質、有機化合物、高分子化合物のそれぞれの特徴に着目して、様々な物質がそれぞれの特徴を生かして人間生活の中で利用され、日常生活や社会を豊かにしていることを理解している。 ・資源、エネルギー、情報、生命、環境、材料などに関連する先端の化学に着目して、化学の成果が様々な分野で利用され、未来を築く新しい科学技術の基盤となっていることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日常生活で利用されている物質について、具体的な例をもとに、克服してきた課題や科学技術の発展について、科学的な根拠に基づいて考察することができる。 ・今後の発展が期待されている化学とその応用について、具体的な事例をもとに考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常生活で利用されている物質について、その特徴や技術的な背景について、探究しようとする。 ・今後の発展が期待されている化学とその応用について、科学技術や利用の未来を考察し、探究しようとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計140

東京都立神津高等学校 令和8年度(3学年) 教科 理科 科目 生物

教 科:理科 科 目:生物 単位数: 2 対象学年組:第3学年A組

使用教科書:『生物』(東京書籍)

教科 理科 の目標:

【知 識 及 び 技 能】自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1 生物の進化 生命の起源と細胞の進化 生物の進化と遺伝子 【知識及び技能】 細胞に進化と地球環境の変遷に関連があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の進化に関して，科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生物の進化に関して、科学的に探求しようとする態度を養う。	指導事項 共通性、多様性と進化 生物の進化と地球環境の変遷 生物の進化のしくみ 生物の系統 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 生物の進化と遺伝子の関係について，の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】生物の進化と遺伝子の関係について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】生物の進化と遺伝子の関係に関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	14
	2生命現象と物質 細胞と物質 【知識及び技能】 すべての生物の細胞には共通性があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 細胞と物質に関する観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 細胞と物質に関して、科学的に探求しようとする態度を養う。	・指導事項 細胞を構成する成分 生体膜のはたらき 細胞の構造 タンパク質の構造 酵素 生命現象とタンパク質 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 生命現象と物質について，の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】生命現象と物質について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】生命現象と物質に関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13

	定期考査			○	○		1
	2　生命現象と物質 　代謝とエネルギー 【知識及び技能】 代謝にはエネルギーが必要なことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 代謝に関する観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 代謝とエネルギーに関して、科学的に探求しようとする態度を養う	・指導事項 代謝とエネルギー 呼吸 発酵 光合成 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】代謝とエネルギーについて，生物とエネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】代謝とエネルギーについて，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】代謝とエネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	9
	2 遺伝子情報の発現と発生 　遺伝情報とその発現 【知識及び技能】遺伝情報の転写と翻訳のはたらきについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 転写と翻訳に関する観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 転写と翻訳に関して、科学的に探求しようとする態度を養う。	・指導事項 DNA の複製 遺伝情報の流れ RNA と転写 翻訳のしくみ 遺伝情報の変化 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】遺伝情報とその発現について，物質 DNA の構造や物質としての特徴を理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】遺伝情報とその発現について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】遺伝情報とその発現に関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	9
	2 遺伝子情報の発現と発生 　発生と遺伝子発現 【知識及び技能】発生と遺伝情報の発現について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 発生と遺伝情報の発現にかかわる観察などを行い，科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】　遺伝情報の発現に関して、科学的に探求しようとする態度を養う	・指導事項 原核生物の発現調節 真核生物の発現調節 動物の配偶子形成 ウニの発生 カエルの発生 選択的遺伝子発現 細胞の分化と遺伝子 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】発生と遺伝子発現のしくみについて，遺伝情報の転写と翻訳の基本概念を理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】発生と遺伝子発現のしくみについて、問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】発生と遺伝子発現のしくみに関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

2学期	2. 遺伝子情報の発現と発生 遺伝子を扱う技術 【知識及び技能】バイオテクノロジーについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 バイオテクノロジーに関する観察，調査などを行い，科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】バイオテクノロジーに関して、科学的に探求しようとする態度を養う。	・指導事項 遺伝子を増幅する技術 塩基配列を解読する技術 遺伝子組換え技術の利用 遺伝子組換え技術の課題 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】バイオテクノロジーの概念について，体内環境の調節の基本概念を理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】バイオテクノロジーの概念について、問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】バイオテクノロジーに関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	14
	3. 生物の環境応答 動物の刺激の受容と反応 【知識及び技能】動物の環境応答のしくみについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 動物の環境応答に関する調査などを行い，科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 動物の環境応答に関して、科学的に探求しようとする態度を養う。	・指導事項 刺激の受容と反応 興奮の伝導と伝達 刺激の受容と感覚 中枢神経系 効果器 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】動物の環境応答のしくみについて，神経系や効果器のはたらきに関する基本概念を理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】動物の環境応答のしくみについて、問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】動物の環境応答疫に関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。				13
	定期考査			○	○		1
	3. 生物の環境応答 動物の行動 【知識及び技能】動物の行動と学習のしくみについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 動物の行動に関する調査などを行い，科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 動物の行動とは 刺激の受容と応答 学習のしくみ ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】動物の行動のしくみについて，神経系や効果器のはたらきに関する基本概念を理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】動物の行動のしくみについて、問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】動物の行動に関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもっ	○	○	○	14

	動物の行動に関して、科学的に探求しようとする態度を養う。		たり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。				
	3. 生物の環境応答 植物の環境応答 【知識及び技能】動物の環境応答のしくみについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 動物の環境応答に関する調査などを行い，科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 動物の環境応答に関して、科学的に探求しようとする態度を養う。	・指導事項 植物の生殖と発生 植物ホルモン」 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】植物の環境応答のしくみに関する基本概念を理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】植物の環境応答のしくみについて、問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】植物の環境応答疫に関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。				13
	定期考査			○	○		1
3学期	総合演習	・指導事項 問題演習 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】生物や生物基礎の学習内容について、基本概念を理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】生物や生物基礎の学習内容しくみについて、問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】生物や生物基礎の学習内容に進んでかかわり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	14
	卒業レポート			○	○	○	14 合計 140

東京都立神津高等学校 令和8年度(3学年)　教科　理科　　科目　生物演習

教　科:理科　　科　目:生物演習　　単位数:　2　　対象学年組:第3学年A組

使用教科書:(東京書籍『生物』)

教科　理科　の目標:

【知　識　及　び　技　能】自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

科目　生物演習　の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	1 生命現象と物質 細胞と物質 【知識及び技能】 すべての生物の細胞には共通性があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 細胞と物質に関する観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 細胞と物質に関して、科学的に探求しようとする態度を養う。	・指導事項 細胞を構成する成分 生体膜のはたらき 細胞の構造 タンパク質の構造 酵素 生命現象とタンパク質 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 生命現象と物質について，の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】生命現象と物質について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】生命現象と物質に関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	1 生命現象と物質 代謝とエネルギー 【知識及び技能】 代謝にはエネルギーが必要なことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 代謝に関する観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 代謝とエネルギーに関して、科学的に探求しようとする態度を養う	・指導事項 代謝とエネルギー 呼吸 発酵 光合成 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】代謝とエネルギーについて，生物とエネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】代謝とエネルギーについて，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】代謝とエネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもったり振り返ったりする	○	○	○	7

			など，科学的に探究しようとしている。				
	定期考査			○	○		1
	2 遺伝子情報の発現と発生 遺伝情報とその発現 【知識及び技能】遺伝情報の転写と翻訳のはたらきについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 転写と翻訳に関する観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 転写と翻訳に関して、科学的に探求しようとする態度を養う。	・指導事項 DNA の複製 遺伝情報の流れ RNA と転写 翻訳のしくみ 遺伝情報の変化 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】遺伝情報とその発現について，物質 DNA の構造や物質としての特徴を理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】遺伝情報とその発現について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】遺伝情報とその発現に関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	2 遺伝子情報の発現と発生 発生と遺伝子発現 【知識及び技能】発生と遺伝情報の発現について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 発生と遺伝情報の発現にかかわる観察などを行い，科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 遺伝情報の発現に関して、科学的に探求しようとする態度を養う	・指導事項 原核生物の発現調節 真核生物の発現調節 動物の配偶子形成 ウニの発生 カエルの発生 選択的遺伝子発現 細胞の分化と遺伝子 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】発生と遺伝子発現のしくみについて，遺伝情報の転写と翻訳の基本概念を理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】発生と遺伝子発現のしくみについて、問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】発生と遺伝子発現のしくみに関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2学期	2. 遺伝子情報の発現と発生 遺伝子を扱う技術 【知識及び技能】バイオテクノロジーについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 バイオテクノロジーに関する観察，調査などを行い，	・指導事項 遺伝子を増幅する技術 塩基配列を解読する技術 遺伝子組換え技術の利用 遺伝子組換え技術の課題 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート	【知識・技能】バイオテクノロジーの概念について，体内環境の調節の基本概念を理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】バイオテクノロジーの概念について、問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し	○	○	○	13

	科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】バイオテクノロジーに関して、科学的に探求しようとする態度を養う。	・一人1台端末の活用	表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】バイオテクノロジーに関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。				
	定期考査			○	○		1
	総合演習	指導事項 問題演習 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】生物や生物基礎の学習内容について、基本概念を理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】生物や生物基礎の学習内容しくみについて、問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】生物や生物基礎の学習内容に進んでかかわり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
3学期	総合演習	・指導事項 問題演習 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】生物や生物基礎の学習内容について、基本概念を理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】生物や生物基礎の学習内容しくみについて、問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】生物や生物基礎の学習内容に進んでかかわり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	卒業レポート			○	○		1 合計 70

東京都立神津高等学校 令和8年度(3学年)　　教科 外国語 科目　論理・表現Ⅲ

教　科: 外国語　科　目:論理・表現Ⅲ　　単位数:2　　対象学年組:第 3学年

使用教科書:(啓林館『Vision Quest English Logic and Expression』)

教科 外国語　の目標:

【知　識　及　び　技　能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

科目 論理・表現Ⅲの目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。 外国語の音声，語彙・表現，文法を，4技能(聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと)において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して，場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について外国語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。 外国語の学習を通じて，言語やその背景にある文化を尊重し，自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当時数
			聞	読	話【や】	話【発】	書					
1学期	A 単元 Lesson1 【知識及び技能】 〇外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割	・ソーシャルメディアに関する記事を読む。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	〇	〇	〇	〇	〇	【知識及び技能】 〇外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。	〇	〇	〇	8

	などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。							【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
	B 単元 Lesson2 【知識及び技能】 〇外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題につ	・2 人の会社員の会話を読む。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	〇	〇	〇	〇	〇	【知識及び技能】 〇外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなど	〇	〇	〇	8

	いて、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。】							を外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
	定期考査		〇	〇			〇		〇	〇		1
	C 単元 Lesson3 【知識及び技能】 〇外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを	・大阪の笑いに関する記事を読む。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	〇	〇	〇	〇	〇	【知識及び技能】 〇外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	〇	〇	〇	8

	話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている							【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
	D 単元 Lesson4 【知識及び技能】 〇外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりし	・日本人の祖先がどのように渡海したかを読む。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	〇	〇	〇	〇	〇	【知識及び技能】 〇外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	〇	〇	〇	8

	たことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている							〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
	定期考査		〇	〇			〇		〇	〇		1
2学期	E Lesson5 【知識及び技能】 〇外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的	・心理学に関する記事を読む。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	〇	〇	〇	〇	〇	【知識及び技能】 〇外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	〇	〇	〇	8

	に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている											
	F Lesson6 【知識及び技能】 〇外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている	・ピクサーの歴史に関する記事を読む。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	〇	〇	〇	〇	〇	【知識及び技能】 〇外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	〇	〇	〇	8
	定期考査		〇	〇			〇		〇	〇		1

	G 『パワーマックス』第１回 【知識及び技能】 〇外国語の４技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている	・補助教材を用いた問題演習 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人１台端末の活用	〇					【知識及び技能】 〇外国語の４技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	〇	〇	〇	8
	H 『パワーマックス』第２回 【知識及び技能】 〇外国語の４技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知	・補助教材を用いた問題演習 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人１台端末の活用	〇					【知識及び技能】 〇外国語の４技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。	〇	〇	〇	8

	識・技能を身に付けさせる。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている							〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
	定期考査		〇	〇			〇		〇	〇		1

3学期	I 『パワーマックス』第３回 【知識及び技能】 〇外国語の４技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている	・ICT 機器を活用した授業 ・一人１台端末の活用	〇					【知識及び技能】 〇外国語の４技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	〇	〇	〇	2 合計 70

東京都立神津高等学校 令和 8 年度(3学年用) 教科 芸術　　科目 音楽表現

教 科: 芸術　　科 目:音楽表現　　単位数:2　　対象学年組:第 3 年 A 組

使用教科書:(なし)

教科 芸術の目標:

【知 識 及 び 技 能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽に合った表現を実現するために必要な歌唱や器楽の基本的な技能を身につけている。	イメージを膨らませ、音楽に合った表現を創意工夫する思考力と、それを言語や演奏を通して再現する表現力を身につけている。	音楽活動に対して積極性をもって授業に取り組み、目標に合った創意工夫をもって活動できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			歌	器	創						
1学期	A 器楽・歌唱 【知識及び技能】 選択した演奏手段に必要な歌唱法・奏法を身に着け、楽譜の指示を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想を意識し、明確な意図を持って演奏活動に取り組んでいる。 【学びに向かう力、人間性等】 演奏活動に積極的な姿勢を持つ。また、演奏発表までのスケジュールに見通しをもって活動できている。	・エレキギター ・ピアノ	○	○			・選択した演奏手段に必要な歌唱法・奏法を身に着け、楽譜の指示を理解できている。 ・曲想を意識し、明確な意図を持って演奏活動に取り組んでいる。 ・演奏活動に積極的な姿勢を持っている。	○	○	○	10
	B 鑑賞 【知識及び技能】 楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持つ。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠づけて自分なりの言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えを正確に相手に伝えようとする態度をもっている。	・スピーカー ・一人一台端末				○	・楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持っている。 ・楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠づけて自分なりの言葉で表現することができている。 ・自分の考えを相手に伝えようと努力する態度がある。	○	○	○	10

	C 歌唱　夏の思い出 【知識及び技能】 楽譜の指示を理解し、強弱や音価の違いを正確に読み取って歌唱している。 【思考力、判断力、表現力等】 詞とメロディー、伴奏のかかわり合いを意識し、自分なりの表現の意図を持って歌唱している。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱に対して創意工夫をする態度をもっている。	・プリント	○				・強弱や音価の違いを意識して歌唱に取り組んでいる。 ・詞と音楽のかかわり合いを意識し、自分なりの表現の意図を持って歌唱している。 ・歌唱の活動に対し、創意工夫する態度を持っている。	○	○	○	10
2学期	D 器楽 【知識及び技能】 選択した楽器の基本的な奏法を身に着け、楽譜の指示を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 効率的な練習方法を模索し、演奏技術の向上に繋げられている。 【学びに向かう力、人間性等】 演奏活動に積極的な姿勢を持つ。また、演奏発表までのスケジュールに見通しをもって活動できている。	・エレキギター ・エレキベース ・ドラム		○			・選択した楽器の基本的な奏法が身についている。 ・楽譜の指示を理解している。 ・練習方法を自分なりに工夫して活動に取り組んでいる。 ・演奏活動に積極的な姿勢を持っている。	○	○	○	15
	E 鑑賞 【知識及び技能】 楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持つ。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠づけて自分なりの言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えを正確に相手に伝えようとする態度をもっている。	・スピーカー ・一人一台端末				○	・楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持っている。 ・楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠づけて自分なりの言葉で表現することができている。 ・自分の考えを相手に伝えようと努力する態度がある。	○	○	○	15
3学期	F 器楽 【知識及び技能】 選択した楽器の基本的な奏法を身に着け、楽譜の指示を理解できる。	・エレキギター ・エレキベース ・ドラム		○			・選択した楽器の基本的な奏法が身についている。 ・楽譜の指示を理解している。 ・練習方法を自分なりに工夫して活動に取り組んでいる。	○	○	○	5

	【思考力、判断力、表現力等】 効率的な練習方法を模索し、演奏技術の向上に繋げられている。 【学びに向かう力、人間性等】 演奏活動に積極的な姿勢を持つ。また、演奏発表までのスケジュールに見通しをもって活動できている。						・演奏活動に積極的な姿勢を持っている。				
	G 鑑賞 【知識及び技能】 楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持つ。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠づけて自分なりの言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な地域、ジャンルの音楽に親しむ態度を養う。	・スピーカー ・一人一台端末				○	・楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持っている。 ・楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠づけて自分なりの言葉で表現することができている。 ・様々な地域、ジャンルの音楽に親しむ態度を持っている。	○	○	○	5 合計 70

東京都立神津高等学校 令和 8 年度(3学年) 教科 芸術　　科目 音楽総合

教 科: 芸術　　科 目:音楽総合　　単位数:2　対象学年組:第 3 学年　A 組

使用教科書:(なし)

教科 芸術　　の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典的音楽の時代から現代にいたるまでの音楽の発展や変遷に触れ、それぞれの特徴や良さを理解している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、自分なりの意図を表現や鑑賞の活動に反映することができる。	音楽活動に対して積極性をもって授業に取り組み、目標に合った創意工夫をもって活動できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			歌	器	創						
1学期	A 器楽 【知識及び技能】 選択した楽器の基本的な奏法を身に着け、楽譜の指示を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 効率的な練習方法を模索し、演奏技術の向上に繋げられている。 【学びに向かう力、人間性等】 演奏活動に積極的な姿勢を持つ。また、演奏発表までのスケジュールに見通しをもって活動できている。	・エレキギター ・エレキベース ・ドラム		○			・選択した楽器の基本的な奏法が身についている。 ・楽譜の指示を理解している。 ・練習方法を自分なりに工夫して活動に取り組んでいる。 ・演奏活動に積極的な姿勢を持っている。	○	○	○	10
	B 鑑賞 【知識及び技能】 楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持つ。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠づけて自分なりの言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えを正確に相手に伝えようとする態度をもっている。	・スピーカー ・一人一台端末				○	・楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持っている。 ・楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠づけて自分なりの言葉で表現することができている。 ・自分の考えを相手に伝えようと努力する態度がある。	○	○	○	10

	C 歌唱　Nel col piu non mi sento 【知識及び技能】 イタリア語の発音のルールに則り、正確な音程で歌唱している。 【思考力、判断力、表現力等】 強弱やテンポの変化を意識し、自分なりの表現の意図を持って歌唱している。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱に対して創意工夫をする態度をもっている。	・プリント	○				・イタリア語の発音のルールに則り、正確な音程で歌唱できている。 ・強弱やテンポの変化を意識し、自分なりの表現の意図を持って歌唱できている。 ・歌唱の活動に対し、創意工夫する態度を持っている。	○	○	○	10
2学期	D 器楽 【知識及び技能】 選択した楽器の基本的な奏法を身に着け、楽譜の指示を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 効率的な練習方法を模索し、演奏技術の向上に繋げられている。 【学びに向かう力、人間性等】 演奏活動に積極的な姿勢を持つ。また、演奏発表までのスケジュールに見通しをもって活動できている。	・エレキギター ・エレキベース ・ドラム		○			・選択した楽器の基本的な奏法が身についている。 ・楽譜の指示を理解している。 ・練習方法を自分なりに工夫して活動に取り組んでいる。 ・演奏活動に積極的な姿勢を持っている。	○	○	○	15
	E 鑑賞　変奏曲 【知識及び技能】 変奏曲の基本的な構成を理解して鑑賞している。 【思考力、判断力、表現力等】 変奏ごとの違いを聞き取り、特性を言語化して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 楽曲の形式に興味を持ち、分析的な視点で積極的に鑑賞に取り組んでいる。	・プリント				○	・変奏曲の基本的な構成を理解している。 ・変奏ごとの違いを聞き取り、特性を言語化して伝えることができる。 ・楽曲の形式に興味を持ち、分析的な視点で積極的に鑑賞に取り組んでいる。	○	○	○	15
3学期	F 器楽 【知識及び技能】 選択した楽器の基本的な奏法を身に着け、楽譜の指示を理解できる。	・エレキギター ・エレキベース ・ドラム		○			・選択した楽器の基本的な奏法が身についている。 ・楽譜の指示を理解している。 ・練習方法を自分なりに工夫して活動に取り組んでいる。	○	○	○	5

	【思考力、判断力、表現力等】 効率的な練習方法を模索し、演奏技術の向上に繋げられている。 【学びに向かう力、人間性等】 演奏活動に積極的な姿勢を持つ。また、演奏発表までのスケジュールに見通しをもって活動できている。						・演奏活動に積極的な姿勢を持っている。				
	G 鑑賞 【知識及び技能】 楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持つ。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠づけて自分なりの言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な地域、ジャンルの音楽に親しむ態度を養う。	・スピーカー ・一人一台端末				○	・楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持っている。 ・楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠づけて自分なりの言葉で表現することができている。 ・様々な地域、ジャンルの音楽に親しむ態度を持っている。	○	○	○	5 合計 70

東京都立神津高等学校 令和8年度（3学年）　　教科 芸術　科目 視覚デザイン

教 科: 芸術　　科 目:視覚デザイン　　単位数:2 単位　　対象学年組:第 3学年 A 組

使用教科書:（ なし ）

教科 芸術　の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 視覚デザイン の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジュアルデザインの幅広い活動を通して、視覚的な伝達効果について理解を深めるとともに、専門的な技能を身につけるようにする。	社会におけるデザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、目的や条件、美しさとともに個性豊かで創造的な表現の構想を練り、思考力、表現力等を育成する。	主題に合った表現方法を創意工夫し、ビジュアルデザインの可能性を追求する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	・ガイダンス（1 年間の目標） F ストップモーション・アニメの制作 【知識及び技能】スマホの画像編集アプリを使いコマ撮りアニメをつくる。 【思考力、判断力、表現力等】絵コンテをつくりストーリー展開を計画的に発想する。 【学びに向かう力、人間性等】冒頭アニメの名作を鑑賞しその動画技術を参照する。	・ビジュアルデザインの概要 ・指導事項　まず画像を動かすことから始めよう。 ・スマホアプリを使って身の回りのものが動く様子を確認する。 ・アカデミー賞を受賞した「つみきの家」を鑑賞し作品制作に入る。	○	○			・ 【知識及び技能】アプリの基本動作を確認し使いこなしているかを評価する。 【思考力、判断力、表現力等】ストーリー性は確保したか。 【主体的に学習に取り組む態度】積極的にデザイン表現の創造活動に取り組もうとしている　完成後、上映会を実施し互いに感想を出し合う。	○	○	○	16
	C キャラクターデザイン演習 【知識及び技能】キャラクターを設計するうえで必要な要素、伝達したい情報やイメージなどを捉えキャラクターをつくっていく。 【思考・判断・表現】人体比例やコスチュームデザイン、透視図法などを参照しながら創造性豊かに表現する。 【学びに向かう力、人間性等】キャラクターの性格設定や伝達効果について主体的に取り組む。	・指導事項　ディズニーキャラクターはどのようにしてつくられているか資料を参照する。 ・教材　鉛筆（基本的に2B を使用）、アイデアスケッチ用紙＋八つ切り画用紙、定規、コンパス、PC 等。	○			○	【知識・技能】意図に応じて表現方法を工夫して画材の特性を生かして見通しをもって創造的に制作している。 【思考・判断・表現】キャラクターのコンセプト設定に必要な要素をもれなく実行しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】キャラクター表現の創造活動に創意工夫し積極的に取り組んだか。	○	○	○	12
	D 配色の応用 【知識及び技能】色彩の性質をよく理解し、色彩の様々な心理的効果へとつなげる。 【思考力、判断力、表現力等】配色の基本をベースに色彩調和への理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】現代の生活空間における色彩計画の重要性について関心を高める。	・指導事項　色彩の基本的性質と配色パターン ・教材　色彩検定 3 級問題集　配色カード（日本色研）。 ・アクリルガッシュ、鉛筆、定規、コンパス、ワークシート等。	○			○	【知識・技能】色彩の性質を理解し、創造的で個性的な表現世界へ展開することができたか。 【思考・判断・表現】色の組み合わせによって千変万化な効果を生むことに気づき、これを応用することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】色彩への理解について意欲的に取り組むことができたか。	○	○	○	4

2学期	E 文化祭（黒潮祭）のポスターの制作 【知識及び技能】ポスターに関する多くのビジュアル資料を検討しアイデアをまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】文字の書体、大きさ、配色を考え、絵柄と組み合わせる。 【学びに向かう力、人間性等】何を伝えるのか。しっかりしたコンセプトをつくる。	・指導事項　メッセージを伝えるポスターをつくろう。 鉛筆、メモ用紙、色鉛筆、水彩絵の具、アクリルガッシュ、ケント紙、図書資料。		○			【知識及び技能】タイポグラフィ、イラスト、全体構成（とくに色彩計画）はまとまったか。 【思考力、判断力、表現力等】アイデアスケッチから完成まであきらめず努力をつづけたか。 【主体的に学習に取り組む態度】このポスターがどこに貼られ、どのような人が見ることを想定していたか。	○	○	○	14
	F ジオラマの制作 【知識及び技能】縮小化された現実を構成するさまざまな要素を洗い出し製作する。 【思考力、判断力、表現力等】アイデアスケッチを多用しオリジナル空間を展開していく。 【学びに向かう力、人間性等】既成のドールハウスや鉄道ジオラマを鑑賞しその製作技術を参照しモチベーションを高める。	・指導事項　自分のオリジナル世界をつくる（私のもっとも落ち着くところ）。 ・プラモデルや鉄道模型の完成展示の背景としてつくられるジオラマ模型を積極的に美術作品として転用する。 ・教材　B4 スチレンボード、バルサシート、各種ジオラマスポンジ、芝生マット、水面シート、プラ角棒ほか。			○	○	【知識及び技能】様々な素材や道具の用途を確認し使いこなしているかを評価する。 【思考力、判断力、表現力等】その場所にまつわるさまざまな物語を創出しリアリティを追求したか。 【主体的に学習に取り組む態度】箱の中に置く舞台装置の小物を用意してくるなど意欲的に取り組んだか　完成後、それぞれの作品を撮影し批評し合う。	○	○	○	16
3学期	G 紙飛行機のデザイン 【知識及び技能】紙飛行機それ自体の美しさとともに空中を飛ぶという機能美も追及する。 【思考力、判断力、表現力等】造形性の制約のなかでどれだけ自由に個性的な表現ができるだろうか。 【学びに向かう力、人間性等】紙飛行機の種類や歴史などに関心を持ち優れた機体をつくる。	・指導事項　ペーパーエアプレーンの制作。 ・教材　ペーパーエアプレーンのキット、アクリルガッシュなどによる着彩、カッターや接着剤などの工作用具。	○	○		○	【知識及び技能】キットを組み立てながら機体の飛行性能を上げることに創意工夫したか。 【思考力、判断力、表現力等】空気抵抗や翼の断面形状など紙飛行機の構造について研究し、その成果を飛行性能に結びつけることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】他の飛行機と差別化するためにカラーリングを工夫する。	○	○	○	4
	H 鑑賞 【知識及び技能】製作者の意図や構想のオリジナリティと表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深める。 【思考力、判断力、表現力等】ストーリーを要約し簡明に文章化することができる。 【学びに向かう力、人間性等】感動した場面を率直に感想文で表明することができるか。	・指導事項　アニメ作品の鑑賞 ・日本のアニメ作品が海外でも評価されるようになった要因について意見交換し互いに考察する。 ・教材　上映作品（スタジオジブリ作品）。	○			○	【知識及び技能】映像を見ながら製作上の創意工夫や映像技術に着目したか。 【思考力、判断力、表現力等】想像をめぐらし製作者の制作意図をどこまで理解し見方や感じ方を深めることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】海外のアニメ作品の歴史や文化的価値を感じ取り、日本と比較し、その見方や感じ方を深めることができたか。	○	○	○	4 合計 70

東京都立神津高等学校 令和８年度（３学年） 教科 芸術　　科目 工芸演習

教　科：芸術　　科　目：　工芸演習　　単位数：２　　対象学年組：第 ３学年　A組

使用教科書：(　なし　)

教科 芸術　の目標：

【知　識　及　び　技　能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 工芸演習　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工芸の幅広い創造活動を通して、対象や事象を捉える造形的視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	A オリエンテーション B 彫刻刀の基本的技法 【知識及び技能】 彫刻刀など木彫表現に必要な用具や素材についての知識や技法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】素材感を生かした表現力を発揮できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】参考資料などの木彫作品を美しいと感じ、自らの表現意欲に結びつけ、主体的に取り組ませる。	・指導事項　工芸とはなにか　伝統工芸と工業デザインの違い。 ・指導事項　彫刻刀を使いこなす ・教材 ・彫刻刀(基本的に 5 本組を使用)、ICT 端末、シナ合板、ワークシート等。	○			○	【知識・技能】さまざまな工芸の表現方法、技法を創意工夫し、作品制作に生かしているか。 【思考・判断・表現】木彫技法の良さや美しさを感じ発想や構想の独自性と表現の工夫について多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】木という素材の材質や質感を味わいつつ創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	C さまざまな木彫技法① 【知識及び技能】彫刻刀による木彫表現を学び、イメージした形を実現する技術を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】平面では不可能な独特なレリーフ的空間表現を理解し実現する。 【学びに向かう力、人間性等】複合的に図形を組み合わせたデザインに積極的に取り組んだ。	・指導事項　彫刻刀のトレーニング(基本的な幾何図形を彫る)。 ・教材　シナ合板。 ・彫刻刀(基本的に 5 本組を用) ワークシート等。	○			○	【知識・技能】さまざまな工芸の表現方法、技法を創意工夫し、作品制作に生かしているか。 【思考・判断・表現】木彫技法の良さや美しさを感じ発想や構想の独自性と表現の工夫について多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】木という素材の素材感や質感を鑑賞する創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	D さまざまな木彫技法② 【知識及び技能】彫刻刀による木彫表現を学び、イメージした形を実現する技術を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】平面では不可能な独特なレリーフ的空間表現を理解し、実現する。 【学びに向かう力、人間性等】複合的に図形を組み合わせたデザインに積極的に取り組んだ。	・指導事項　木箱を彫る。 ・教材　六角箱(白木)。 ・彫刻刀(基本的に 5 本組を用) ワークシート等。 幾何形体で箱全体を装飾する　いままで取り組んだ技法を駆使して集大成とする。	○			○	【知識・技能】さまざまな工芸の表現方法、技法を創意工夫し、作品制作に生かしているか。 【思考・判断・表現】木彫技法の良さや美しさを感じ発想や構想の独自性と表現の工夫について多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】木という素材の素材感や質感を鑑賞する創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	16

2学期	E 陶芸の基礎 【知識及び技能】土の性質をよく理解し、作品を制作するプロセスのなかで、土の可能性を十分に引き出せるか。 【思考力、判断力、表現力等】造形性の制約の中でどれだけ自由に自己表現できるだろうか。 【学びに向かう力、人間性等】伝統文化にも関心を持てるか。	・指導事項　それぞれの作業を着実にこなしていくことで着実に技術を身に着けていく。 ・手ひねりのための用具一式、土 ・縄文、弥生、古墳時代の美術作品の画集や画像資料を提示。	○			○	【知識及び技能】各作業工程を着実にこなしたか。 【思考力、判断力、表現力等】土の性質を知ることに対し積極的であったか。 【主体的に学習に取り組む態度】土偶、埴輪など日本文化の原像にふれ、その感動を自らの作品に援用できたか。	○	○	○	16
	F さまざまな陶芸技法 陶芸：焼成と釉がけ 【知識及び技能】作品乾燥、高台削り、素焼き、撥水剤、釉がけ、それぞれの工程を理解し実践する。 【思考力、判断力、表現力等】釉薬の発色効果をよく検討し、自らの構想に合致するものを選ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】やきものに興味を持つことができたか。	・指導事項　焼成と釉がけでは予想外の事態が発生することが多い。どのような結果でも受け入れる姿勢が必要だ。 焼成窯、釉薬一式、土。	○			○	【知識及び技能】それぞれの工程に集中力を欠かさず注力したか。 【思考力、判断力、表現力等】個性的な創造性を発揮したか。 【主体的に学習に取り組む態度】他の作品を公平に評価できたか。	○	○	○	10
3学期	G 鑑賞 【知識及び技能】対象や事象をとらえる造形的な支店について理解を深めるとともに意図に応じて制作方法を創意工夫し創造的に表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きについて考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育む。	・指導事項　ポートフォリオの制作　1年間を振り返り作品資料を整理編集する　終了後、発表会を行い意見交換等行う。 ・工芸の幅広い創造活動を通して、造形的な見方、考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会のなかの工芸や工芸の伝統や文化と幅広く関わる資質・能力を身に着けることができたか。	○			○	【知識及び技能】主体的に工芸の創造的な活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育む。 【思考力、判断力、表現力等】造形的なよさや美しさを感じ取り感性を高めることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】工芸の創造活動に主体的に取り組んできたか　また生涯にわたり工芸を愛好する心情を育む。	○	○	○	8 合計 70

東京都立神津高等学校 令和8年度(3学年)　教科 保健体育　科目 スポーツ演習

教 科: 保健体育 科 目:スポーツ演習　単位数:2　対象学年組:第3学年A組

使用教科書:(現代高等保健体育 大修館書店)

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに，技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的，計画的な実践を通して，運動の楽しさや喜びを深く味わい，生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため，運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに，それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の責任を果たす，参画する，一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに，健康・安全を確保して，生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	Aトレーニング 【知識及び技能】 運動やスポーツの技能と体力は，相互に関連していること。また，期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに，過度な負荷や長期的な酷使は，けがや疾病の原因となる可能性があることを理解できるようにする。 運動やスポーツの技術は，学習を通して技能として発揮されるようになること。また，技術の種類に応じた学習の仕方があること。現代のスポーツの技術や戦術，ルールは，用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていることを理解できるようにする。 運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり，その学習の段階に応じた練習方法や運動観察の方法，課題の設定方法などがあること。また，これらの獲得には，一定の期間がかかることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について，課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えることを理解できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】	・オリエンテーション ・トレーニング理論について ・安全管理について ・トレーニング計画の作成 ・トレーニングの実践 ・トレーニング計画の見直し ・振り返り	【知識・技能】 ・運動やスポーツの技能は，体力と相互に関連しており，技能は，身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツの技能を発揮する際には，個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや，期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・個々の運動やスポーツを特徴付けている技術は，練習を通して身に付けられた合理的な動き方としての技能という状態で発揮されること，技能には，クローズドスキル型とオープンスキル型の技能があること，オープンスキル型の技能は，対人的な競技などで絶えず変化する状況の下で多く発揮されること，クローズドスキル型の技能は，個人的な競技などで状況の変化が少ないところで多く発揮されること，その型の違いによって学習の仕方が異なることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・スポーツの技術や戦術，ルールは，用具や用品，施設などの改良によって変わり続けていること，特に現代では，テレビやインターネットなどのメディアの発達などによっても影響を受けていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	8

	運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。		・運動やスポーツの技能の上達過程を試行錯誤の段階，意図的な調整の段階及び自動化の段階の三つに分ける考え方があること，また，これらの段階に応じて，効果的に上達を図るためには，良い動きを参考として自己の課題を設定すること，課題解決のための自己に適した練習方法を選択すること，自己観察や他者観察を通して課題を発見し解決すること，上達に応じて次の課題を設定することといった取り組み方が運動の継続に有効であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・技能の獲得には，一定の期間がかかることを踏まえ，解決すべき課題を意識した上で，繰り返し取り組むことが安定した技能の定着につながることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツの技能は，体力と相互に関連しており，技能は，身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツの技能を発揮する際には，個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや，期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツを行う際，個人の体力に不適切で過度な負荷や一定部位への長期的な酷使は，けがや疾病の原因となる可能性があること，また，これらを予防することでスポーツが末永く継続できることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツを行う際は，気象条件の変化など様々な危険を予見し，回避することが求められること及び，気象条件や自然環境の変化など様々な危険を予見し回避するためには，けがや事故の防止のための対策，発生時の処置，回復期の対処などの各場面での適切な対応方法を想定しておくこと，けがや事故につながりそうな体験から行動や活動環境の修正を図ることが有効であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツを行う際，個人の体力に不適切で過度な負荷や一定部位への長期的な酷使は，けがや疾病の原因となる可能性があること，また，これらを予防することでスポーツが末永く継続できることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】				

			·選択したトレーニングについて，他者や自己の動きを分析して，良い点や修正点を指摘している。 ·体力や技能の程度，性別等の違いを超えて，仲間とともにトレーニングを楽しむための調整の仕方を見付けている。 ・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について，習得した知識を基に，環境の異なる場所や変化を想定して，危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ·仲間の課題を指摘するなど，互いに助け合い高め合おうとしている。 ·危険の予測をしながら回避行動をとるなど，健康·安全を確保しようとしている。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に，主体的に取り組もうとしている。				
	B 球技 【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい，技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解するとともに，作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することをできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることをできるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどや，健康・安全を確保することをできるようにする。	・オリエンテーション ・次から選択した種目を行う ハンドボール・サッカー・フットサル・テニス・ターゲットバードゴルフ・アルティメット・ボッチャ・モルック ・基礎練習 ・個人練習 ・チーム練習 ・ゲーム ・大会	【知識・技能】 ·球技では，各型の各種目の局面ごとに技術や戦術，作戦の名称があり，それぞれの技術，戦術，作戦には，攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的，計画的な練習の方法があることを理解できるようにする。 ·球技の型や種目によって必要な体力要素があり，その型や種目の技能に関連させながら体力を高めることができるようにする。 【思考・判断・表現】 ·選択した運動について，チームや自己の動きを分析して，良い点や修正点を指摘している。 ·課題解決の過程を踏まえて，チームや自己の新たな課題を発見している。 ·チームや自己の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ·練習やゲームの場面で，チームや自己の危険を回避するための活動の仕方を提案している。 ·練習やゲームを行う場面で，チームや自己の活動を振り返り，よりよいマナーや行為について提案している。 ·チームでの学習で，状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ·チームでの話合いの場面で，合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 ·体力や技能の程度，性別等の違いを超えて，仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 ·球技の学習成果を踏まえて，自己に適した「する，みる，支える，知る」など	○	○	○	8

			の運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ･球技の学習に主体的に取り組もうしている。 ･フェアなプレイを大切にしようとしている。 ･作戦などを話し合う場面で，合意形成に貢献しようとしている。 ･一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ･仲間の課題を指摘するなど，互いに助け合い高め合おうとしている。 ･危険の予測をしながら回避行動をとるなど，健康･安全を確保しようとしている。				
	ビーチスポーツまたはマリンスポーツ（地域の業者に委託する）	ビーチサッカー、ビーチフラッグ、 ビーチバレー等 サーフィン、シュノーケリング、 ダイビング等	【知識・技能】 各種目の特性を理解し、安全に活動するための知識・技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 環境や状況に応じて安全で効果的な行動を選択している。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全意識を持ち、仲間と協力しながら積極的に活動しようとしている。	○	○	○	8
2学期	A トレーニング 【知識及び技能】 運動やスポーツの技能と体力は，相互に関連していること。また，期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに，過度な負荷や長期的な酷使は，けがや疾病の原因となる可能性があることを理解できるようにする。 運動やスポーツの技術は，学習を通して技能として発揮されるようになること。また，技術の種類に応じた学習の仕方があること。現代のスポーツの技術や戦術，ルールは，用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていることを理解できるようにする。 運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり，その学習の段階に応じた練習方法や運動観察の方法，課題の設定方法などがあること。また，これらの獲得には，一定の期間がかかることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について，課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えることを理解できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】	･トレーニング計画の作成 ･トレーニングの実践 ･トレーニング計画の見直し ･振り返り	【知識・技能】 ･運動やスポーツの技能は，体力と相互に関連しており，技能は，身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ･運動やスポーツの技能を発揮する際には，個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや，期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ･個々の運動やスポーツを特徴付けている技術は，練習を通して身に付けられた合理的な動き方としての技能という状態で発揮されること，技能には，クローズドスキル型とオープンスキル型の技能があること，オープンスキル型の技能は，対人的な競技などで絶えず変化する状況の下で多く発揮されること，クローズドスキル型の技能は，個人的な競技などで状況の変化が少ないところで多く発揮されること，その型の違いによって学習の仕方が異なることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ･スポーツの技術や戦術，ルールは，用具や用品，施設などの改良によって変わり続けていること，特に現代では，テレビやインターネットなどのメディアの発達などによっても影響を受けていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	10

	運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。		・運動やスポーツの技能の上達過程を試行錯誤の段階，意図的な調整の段階及び自動化の段階の三つに分ける考え方があること，また，これらの段階に応じて，効果的に上達を図るためには，良い動きを参考として自己の課題を設定すること，課題解決のための自己に適した練習方法を選択すること，自己観察や他者観察を通して課題を発見し解決すること，上達に応じて次の課題を設定することといった取り組み方が運動の継続に有効であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・技能の獲得には，一定の期間がかかることを踏まえ，解決すべき課題を意識した上で，繰り返し取り組むことが安定した技能の定着につながることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツの技能は，体力と相互に関連しており，技能は，身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツの技能を発揮する際には，個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや，期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツを行う際，個人の体力に不適切で過度な負荷や一定部位への長期的な酷使は，けがや疾病の原因となる可能性があること，また，これらを予防することでスポーツが末永く継続できることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツを行う際は，気象条件の変化など様々な危険を予見し，回避することが求められること及び，気象条件や自然環境の変化など様々な危険を予見し回避するためには，けがや事故の防止のための対策，発生時の処置，回復期の対処などの各場面での適切な対応方法を想定しておくこと，けがや事故につながりそうな体験から行動や活動環境の修正を図ることが有効であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツを行う際，個人の体力に不適切で過度な負荷や一定部位への長期的な酷使は，けがや疾病の原因となる可能性があること，また，これらを予防することでスポーツが末永く継続できることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】				

			·選択したトレーニングについて，他者や自己の動きを分析して，良い点や修正点を指摘している。 ·体力や技能の程度，性別等の違いを超えて，仲間とともにトレーニングを楽しむための調整の仕方を見付けている。 ・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について，習得した知識を基に，環境の異なる場所や変化を想定して，危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ·仲間の課題を指摘するなど，互いに助け合い高め合おうとしている。 ·危険の予測をしながら回避行動をとるなど，健康·安全を確保しようとしている。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に，主体的に取り組もうとしている。				
	B 球技 【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい，技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解するとともに，作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することをできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることをできるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどや，健康・安全を確保することをできるようにする。	・次から選択した種目を行う ハンドボール・サッカー・フットサル・テニス・ターゲットバードゴルフ・アルティメット・ボッチャ・モルック ・基礎練習 ・個人練習 ・チーム練習 ・ゲーム ・大会	【知識・技能】 ·球技では，各型の各種目の局面ごとに技術や戦術，作戦の名称があり，それぞれの技術，戦術，作戦には，攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的，計画的な練習の方法があることを理解できるようにする。 ·球技の型や種目によって必要な体力要素があり，その型や種目の技能に関連させながら体力を高めることができるようにする。 【思考・判断・表現】 ·選択した運動について，チームや自己の動きを分析して，良い点や修正点を指摘している。 ·課題解決の過程を踏まえて，チームや自己の新たな課題を発見している。 ·チームや自己の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ·練習やゲームの場面で，チームや自己の危険を回避するための活動の仕方を提案している。 ·練習やゲームを行う場面で，チームや自己の活動を振り返り，よりよいマナーや行為について提案している。 ·チームでの学習で，状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ·チームでの話合いの場面で，合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 ·体力や技能の程度，性別等の違いを超えて，仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 ·球技の学習成果を踏まえて，自己に適した「する，みる，支える，知る」など	○	○	○	10

			の運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ･球技の学習に主体的に取り組もうしている。 ･フェアなプレイを大切にしようとしている。 ･作戦などを話し合う場面で，合意形成に貢献しようとしている。 ･一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ･仲間の課題を指摘するなど，互いに助け合い高め合おうとしている。 ･危険の予測をしながら回避行動をとるなど，健康･安全を確保しようとしている。				
	ビーチスポーツまたはマリンスポーツ（地域の業者に委託する）	ビーチサッカー、ビーチフラッグ、 ビーチバレー等 サーフィン、シュノーケリング、 ダイビング等	【知識・技能】 各種目の特性を理解し、安全に活動するための知識・技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 環境や状況に応じて安全で効果的な行動を選択している。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全意識を持ち、仲間と協力しながら積極的に活動しようとしている。	○	○	○	4
3学期	A トレーニング 【知識及び技能】 運動やスポーツの技能と体力は，相互に関連していること。また，期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに，過度な負荷や長期的な酷使は，けがや疾病の原因となる可能性があることを理解できるようにする。 運動やスポーツの技術は，学習を通して技能として発揮されるようになること。また，技術の種類に応じた学習の仕方があること。現代のスポーツの技術や戦術，ルールは，用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていることを理解できるようにする。 運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり，その学習の段階に応じた練習方法や運動観察の方法，課題の設定方法などがあること。また，これらの獲得には，一定の期間がかかることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について，課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えることを理解できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】	･トレーニング計画の作成 ･トレーニングの実践 ･トレーニング計画の見直し ･振り返り	【知識・技能】 ･運動やスポーツの技能は，体力と相互に関連しており，技能は，身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ･運動やスポーツの技能を発揮する際には，個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや，期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ･個々の運動やスポーツを特徴付けている技術は，練習を通して身に付けられた合理的な動き方としての技能という状態で発揮されること，技能には，クローズドスキル型とオープンスキル型の技能があること，オープンスキル型の技能は，対人的な競技などで絶えず変化する状況の下で多く発揮されること，クローズドスキル型の技能は，個人的な競技などで状況の変化が少ないところで多く発揮されること，その型の違いによって学習の仕方が異なることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ･スポーツの技術や戦術，ルールは，用具や用品，施設などの改良によって変わり続けていること，特に現代では，テレビやインターネットなどのメディアの発達などによっても影響を受けていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	11

	運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。		・運動やスポーツの技能の上達過程を試行錯誤の段階，意図的な調整の段階及び自動化の段階の三つに分ける考え方があること，また，これらの段階に応じて，効果的に上達を図るためには，良い動きを参考として自己の課題を設定すること，課題解決のための自己に適した練習方法を選択すること，自己観察や他者観察を通して課題を発見し解決すること，上達に応じて次の課題を設定することといった取り組み方が運動の継続に有効であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・技能の獲得には，一定の期間がかかることを踏まえ，解決すべき課題を意識した上で，繰り返し取り組むことが安定した技能の定着につながることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツの技能は，体力と相互に関連しており，技能は，身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツの技能を発揮する際には，個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや，期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツを行う際，個人の体力に不適切で過度な負荷や一定部位への長期的な酷使は，けがや疾病の原因となる可能性があること，また，これらを予防することでスポーツが末永く継続できることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツを行う際は，気象条件の変化など様々な危険を予見し，回避することが求められること及び，気象条件や自然環境の変化など様々な危険を予見し回避するためには，けがや事故の防止のための対策，発生時の処置，回復期の対処などの各場面での適切な対応方法を想定しておくこと，けがや事故につながりそうな体験から行動や活動環境の修正を図ることが有効であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツを行う際，個人の体力に不適切で過度な負荷や一定部位への長期的な酷使は，けがや疾病の原因となる可能性があること，また，これらを予防することでスポーツが末永く継続できることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】				

			·選択したトレーニングについて，他者や自己の動きを分析して，良い点や修正点を指摘している。 ·体力や技能の程度，性別等の違いを超えて，仲間とともにトレーニングを楽しむための調整の仕方を見付けている。 ・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について，習得した知識を基に，環境の異なる場所や変化を想定して，危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ·仲間の課題を指摘するなど，互いに助け合い高め合おうとしている。 ·危険の予測をしながら回避行動をとるなど，健康·安全を確保しようとしている。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に，主体的に取り組もうとしている。				

	B 球技 【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい，技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解するとともに，作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することをできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることをできるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどや，健康・安全を確保することをできるようにする。	・次から選択した種目を行う ハンドボール・サッカー・フットサル・テニス・ターゲットバードゴルフ・アルティメット・ボッチャ・モルック ・基礎練習 ・個人練習 ・チーム練習 ・ゲーム ・大会	【知識・技能】 ･球技では，各型の各種目の局面ごとに技術や戦術，作戦の名称があり，それぞれの技術，戦術，作戦には，攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的，計画的な練習の方法があることを理解できるようにする。 ･球技の型や種目によって必要な体力要素があり，その型や種目の技能に関連させながら体力を高めることができるようにする。 【思考・判断・表現】 ･選択した運動について，チームや自己の動きを分析して，良い点や修正点を指摘している。 ･課題解決の過程を踏まえて，チームや自己の新たな課題を発見している。 ･チームや自己の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ･練習やゲームの場面で，チームや自己の危険を回避するための活動の仕方を提案している。 ･練習やゲームを行う場面で，チームや自己の活動を振り返り，よりよいマナーや行為について提案している。 ･チームでの学習で，状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ･チームでの話合いの場面で，合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 ･体力や技能の程度，性別等の違いを超えて，仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 ･球技の学習成果を踏まえて，自己に適した「する，みる，支える，知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ･球技の学習に主体的に取り組もうしている。 ･フェアなプレイを大切にしようとしている。 ･作戦などを話し合う場面で，合意形成に貢献しようとしている。 ･一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ･仲間の課題を指摘するなど，互いに助け合い高め合おうとしている。 ･危険の予測をしながら回避行動をとるなど，健康･安全を確保しようとしている。	○	○	○	11 合計 70

東京都立神津高等学校 令和8年度（3学年）　　教科　保健体育　　科目　専門体育

教　科：保健体育　　科　目：体育　　単位数：　2　　対象学年組：第3学年

使用教科書：（なし）

教科 の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】様々な競技、種目を知り、取り組み方や練習方法を他者に伝える方法を知る。

【思考力、判断力、表現力等】自身の進路を考えそれに伴う必要な能力を見つけ、それに応じた課題を見つけ合理的に解決していける力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自身の進路に必要な能力、知識を高めようとする態度を養う。

科目　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・様々な競技、種目を知り、内容を理解した上で知識や技能を向上させる力を養うことができる。	・必要な能力や課題を見つけ出し、合理的解決に向けた練習方法を考え、課題解決することができる。	・自身の進路について、必要な能力を振り返ったり、問題を解決しようとしたりしながら、自身の能力を高めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	器械体操（マット運動） 【知識及び技能】 技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、運動 観察の方法、体力の高め方などを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を 工夫し。自己の考えたことを他者に伝えられる能力を養うこと。 【学びに向かう力、人間性等】 器械運動に自主的に取り組むとともに、様々な技に応じた課題や挑戦を大切にし、健康・安全を確保すること。	・前方回転系 ・後方回転系 ・ほん天技	【知識・技能】 技能習得に加え、技を行った結果どのような力が養われるかを理解している。 【思考・判断・表現】 技の名称に応じた技能を行うことができ、改善点を考え練習メニューを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に技に取り組み、自己や他人を分析できる方法に対して関心をもちながら取り組むことができている。	○	○	○	10
	B 単元 【知識及び技能】 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたこ	・体ほぐし運動 ・実生活に生かす運動の計画	【知識・技能】 定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながることを理解している。 【思考・判断・表現】 課題に応じた強度や時間、回数、頻度を設定し、課題を解決するための運動計画を立てている。 【主体的に学習に取り組む態度】 体つくり運動の学習に自主的に取り組み、運動計画を立てるなどの話し合いに積極的に参加しようとしている。	○	○	○	8

とを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 体つくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること、話合いに貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保できるようにする。						
陸上競技 【知識及び技能】 短距離走では、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ること、中距離葬では、ペース配分を考えながら走ること、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すこと。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や他者の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方 を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、ルールやマ ナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・短距離 ・中距離 ・長距離 ・ハードル走	【知識・技能】 記録向上につながる重要な動きや留意するべき点を理解しながら、技能を習得することができる。 【思考・判断・表現】 陸上競技の特性を踏まえて、動きなどの 改善についてのポイントを発見したり、健康・安全についての課題を発見したりし、練習メニューや助言を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技各種目の重点ポイントや注意すべき点を理解し、技能習得に向けた改善点について積極的に学ぼうとしている。	○	○	○	10
陸上競技 【知識及び技能】 技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体 力などを理解するとともに、基本的な動きや効率のよい動きを 身に付けることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の 取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたこと	・走り高跳び ・はさみ跳び ・背面跳び	【知識・技能】 技術の名称や「助走」「踏み切り」「空中動作」における動きのポイントを理解している。 【思考・判断・表現】 経験した練習方法から、自己の課題に応じて動きの習得に適した練習方法を選んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ルールやマナーを覚え、使用する用具に対して安全に留意しながら活動している。	○	○	○	10

	を他者に伝 えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 技に応じた課題や挑戦を認めようとすることなど や、健康・安全に気を配ることができるようにする。						
	器械体操（跳び箱） 【知識及び技能】 跳び箱運動の行い方を理解するとともに、自己の能力に適した切り返し系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の能力に適した課題を見付け、その解決の仕方を工夫したり、自己や仲間の考えたことを他者 に伝えたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場 や器械・器具の安全に気を配ったりすることができるようにする。	・開脚跳び ・かかえこみ跳び ・台上前転	【知識・技能】 技の名称を知り、切り返し系の基本的な技を安定して行うことができる。 【思考・判断・表現】 自分の能力に適した技を行い、課題を見つけ解決しようとしたり、思ったこと考えたことを他者に共有したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 跳び箱運動に積極的に取り組み、場や用具の安全に気を配りながら活動しようとしている。	○	○	○	10
2学期	武道（柔道） 【知識及び技能】 柔道の特性や成り立ち、伝統的な考え方を理解し、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの簡易な攻防を展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り 組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 技の違いに応じた課題を見つけ新しい技能習得に挑戦したり、達成感を味わったりす	・柔道 ・受け身 ・投げ技 ・抑え込み技	【知識・技能】 武道の技には名称があり、それぞれの技を身に着けるためのポイントがあることを理解し、技をかけられる状態をつくることができる。 【思考・判断・表現】 提示された練習方法から、自己の課題に応じて動きの習得に適した練習方法を選ぶことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 禁じ技や危険な動きをしないなど、健康や安全に留意している。	○	○	○	6

	るための工夫や調整をできるようにする。						
	武道（剣道） 【知識及び技能】 剣道の技には名称があり、それぞれの技を身に付けるための技術的 なポイントがあることを理解し、簡易的な攻防を展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り 組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 技の違いに応じた課題を見つけ新しい技能習得に挑戦したり、達成感を味わったりするための工夫や調整をできるようにする	・礼法 ・仕掛け技 ・応じ技	知識・技能】 剣道の技には名称があり、それぞれの技を身に着けるためのポイントがあることを理解し、技を仕掛けられる状態をつくることができる。 【思考・判断・表現】 提供された練習方法 から、自己の課題に応じた練習方法を選んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 禁じ技や危険な動きをしないなど、健康や安全に留意している。	○	○	○	6
3学期	運動・スポーツの学び方 【知識及び技能】 健康の保持増進や疾病の予防のためには、個人や社会の取組が重要であり、保健・医療機関を有効に利用すること、医薬品は正しく使用する必要があることを理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康な生活と疾病の予防について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを他者と話し合ったり、記述したりして、計画を立てたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の健康に関心をもち、生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を身	・トレーニング計画の立案 ・けがや事故の予防 ・スポーツ外傷・障害とその原因	【知識・技能】 健康の保持増進やけがや事故の予防には、健康的な生活、効率の良い運動行動など個人が取り組むことがあることを理解することができる。 【思考・判断・表現】 自己で考えたけがや事故の対処法や、トレーニング方法を書き出したり、他者に伝えたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自他の健康に 関心を持ち、 生涯を通じて 健康の保持増 進や回復を目 指す実践力を 身に付ける学 習に主体的に 取り組もうと している。	○	○	○	10

	に付ける学習に主体的に取り組むことができるようにする。						
							合計 70

東京都立神津高等学校 令和8年度(3学年)　教科 家庭　科目 家庭科演習

教 科: 家庭　　科 目: 家庭科演習　　単位数: 2　　対象学年組: 第3学年A組

使用教科書:(第一学習社『高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる』)

教科 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目　家庭科演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出し、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決す	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元:調理実習応用 【知識及び技能】 栄養学、食生活の知識を活かし調理実践し、技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 効率的で、環境に負荷が少ない調理活動を考える 【学びに向かう力、人間性等】 学んだことを実践する意欲を高める	・栄養学 ・調理方法 ・食品、調理器具の取り扱い ・基本的な調理技能 ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 基礎的な栄養素や調理方法、食品の扱いについて理解している 【思考・判断・表現】 基本的な栄養学を用いて、献立作成から調理まで、計画、実習できている 【主体的に学習に取り組む態度】 食生活理論で学んだことを実技として取り組む意欲があり、実践している、また安全な調理活動のための準備・片付けができている	○	○	○	18
	単元:住生活をつくる 【知識及び技能】 自分の日常生活を振り返り、生活行為と生活時間のつながりや住まいの機能について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 各ライフステージに必要とされる居住条件と住まい方について考え、表現できる 【学びに向かう力、人間性等】 住居理論で学んだことを実技(デザイン及びプレ	・住まいの機能 ・間取りの読み取り ・暮らしのシミュレーション ・年代別の居住条件 ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 住まいの機能を十分理解し、現代の住まいの特徴を説明することができる 【思考・判断・表現】 間取りや構造など、書面や画像より必要な情報を読み取ることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 住居学で学んだことを主軸として生活実践的にシュミレーションする意欲があり、物件の費用や情報に関する知識が深められている	○	○	○	14

	ゼンテーション）として実践する						
2学期	単元：被服実習 【知識及び技能】 被服材料、管理の知識を活かし被服制作を通して、技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 効率的で、環境に負荷が少ない制作工程を考える 【学びに向かう力、人間性等】 学んだことを実践する意欲を高める	・被服材料学 ・管理方法 ・製作手順と計画 ・基本な裁縫技能 ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 基礎的な制作手順や縫製方法について理解している 【思考・判断・表現】 基本的な洋裁知識を用いて、制作の準備から完成まで、計画を立てて実習できている 【主体的に学習に取り組む態度】 被服整理理論で学んだことを実技として取り組む意欲があり、実践している、また安全な制作活動のための準備・片付けができている	○	○	○	14
	単元：次世代を育む 【知識及び技能】 児童の権利に関する条約など子どもの福祉について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 貧困や虐待問題など現代の子どもを取り巻く社会環境の課題について考える 【学びに向かう力、人間性等】 子育ては、社会全体で支えていく必要があることを理解し、次の世代の担い手だと認識して学習意欲を高める	・子どもの権利 ・社会で見る生育環境 ・子育ての現状 ・地域、社会の取り組み ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 生まれてくる新しい命は、家族の一員としてだけでなく、社会の一員としてもかけがえのない存在であることを理解している 【思考・判断・表現】 新聞・雑誌などの報道記事に日常から目を向け、「ともに生きる」という視点から人権問題を取り上げ、課題意識を持って、思考できている 【主体的に学習に取り組む態度】 将来の出産や、母性を保護する立場に備えて妊娠の成立や母体の変化への関心を持ち、冷静・的確に対処できる態度が身についている	○	○	○	12
	単元：充実した生涯 【知識及び技能】 高齢者の身体的特徴と心理的特徴を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ノーマライゼーションの理念を土台に，地域のバリアフリーやユニバーサルデザインを考察する 【学びに向かう力、人間性等】 社会的制度，社会福祉の基本的な理念，ともに支え合って生きる社会の考え方について理解する	・高齢者の身体理解 ・高齢期を支える制度 ・共生社会の実現 ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 高齢者の身体的機能の特徴を理解し，社会参加に向けて自立を支援するためにはどうすればよいか考えることができる 【思考・判断・表現】 高齢者体験などの試みを通して，高齢者の気持ち・立場を理解し，さまざまな場面に適用できる 【主体的に学習に取り組む態度】 「だれでもやがて歳をとる」という視点から，高齢化を自分自身の問題としてとらえ，意欲的に取り組む態度が見られる	○	○	○	12
							合計 70

東京都立神津高等学校 令和8年度(3学年)　教科 家庭　科目 専門家庭

教 科: 家庭　　科 目: 専門家庭　　単位数: 2　　対象学年組: 第3学年A組

使用教科書:(第一学習社『高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる』)

教科 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目　専門家庭　の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出し、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元:衣服の構成 【知識及び技能】 衣服に求められる着心地のよさを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 既製衣料サイズ表示から最適な管理方法を考える 【学びに向かう力、人間性等】 立体構成衣服と平面構成衣服、それぞれの形状の違いを学び、衣服を構成する要素の理解を深める	・人体計測 ・既製衣料サイズ ・管理方法 ・衣服の平面構成 ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 人体計測に加え、動作や着脱に影響される寸法や形態、年齢による体型の変化などに配慮することも、衣服を製作する上で重要であることを把握している 【思考・判断・表現】 既製衣料を適切に扱い、管理を判断することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に自分や家族などを例として、年齢や体型、様々なケースに適合する衣服に対して関心を持っている	○	○	○	10
	単元:製作の基礎 【知識及び技能】 採寸の手順、パターン、原型(成人女子原型・成人男子原型)を種類ごとに理解する 【思考力、判断力、表現力等】 布地の種類や性質を理解し、それぞれの特徴に合わ	・衣服の立体構成 ・身頃原型 ・布地の種類と性質 ・基本的な縫製 ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 洋服の構成やパターン、原型の種類、布地の性質など縫製の基礎を製作過程に実践するために理解している 【思考・判断・表現】 計画した衣服を製作するために適切な布地や縫製を考え選択することができる	○	○	○	20

	せた地直しや断ち方、縫い方を習得する 【学びに向かう力、人間性等】 洋服の種類に応じた適切な製作手順を身に付け、デザインを形にできる計画性と技術を向上させる		【主体的に学習に取り組む態度】 制作の準備として、基礎的知識と技術を積極的に学ぼうとしている、また、決定したデザインに沿って裁断・縫製を行い形としてつくりあげる一通りの製作過程を意欲的に計画している				
2学期	単元:製作 【知識及び技能】 洋服の製作を通して立体構成衣服についての理解を深め、基本的な知識・技術を習得する 【思考力、判断力、表現力等】 目的のデザインをイメージ通りの質感に仕上げるために材料に関する知識を深め、適切な材料選択の技術を向上させる 【学びに向かう力、人間性等】 完成に向けて意欲的に取り組んでいる	・原型の展開 ・材料選定 ・デザイン計画 ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 パターンの展開や原型の特徴など、洋服の種類に応じて必要な手順と技を理解している 【思考・判断・表現】 製作に必要な技法を習得し、それを自分の表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 目的に応じたデザインの決定を行い、課題の実現にむけて、計画的に実習している	○	○	○	12
	単元:テーブルコーディネート 【知識及び技能】 日本料理、西洋料理、中国料理等それぞれの様式に応じた食卓構成と作法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 和風・洋風・中国風ごとのテーブルコーディネートの特徴を知り、状況に応じたコーディネートについて考える 【学びに向かう力、人間性等】 献立や目的に応じたテーブルコーディネートができるよう意欲的に取り組んでいる	・食卓構成と作法 ・テーブルコーディネート ・季節行事と行事食 ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 様式別の食卓構成や食卓作法、供応に伴うマナーを身につけている、また、目的に応じたテーブルコーディネートができる 【思考・判断・表現】 食器・盛りつけ・テーブルクロス・照明などについて、目的に応じた適切な選択ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 季節や行事、食事の目的などに応じて食卓を演出しようとする意欲・関心が感じられる	○	○	○	6
	単元:調理実習 【知識及び技能】 栄養バランス、年齢、性、目的を考慮した食事の献立について、要点が理解でき、日常食、行事食など用途に適した献立を作成する 【思考力、判断力、表現力等】 これまで身につけた知識を調理にいかし、手際よくつくることができるようにする 【学びに向かう力、人間性等】	・栄養バランス ・献立作成 ・旬の食べ物 ・基本的な調理技能 ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 目的に応じた献立作成、献立に適した食品の選択、食品の調理性を踏まえた適切な調理について、理解できる 【思考・判断・表現】 食事のテーマに応じた食品材料の選択と調理、テーブルコーディネートなど、一連の流れを計画し実践ができる 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	22

	基礎的な題材から始めて、品数を増やすなど段階的に調理技術の向上を図る		食事のテーマにふさわしい献立や食卓の整え方、周囲の環境づくりを行おうとする意欲・関心が感じられる				
							合計70

東京都立神津高等学校 令和8年度(3学年) 教科 家庭 科目 保育演習

教 科: 家庭　　科 目: 保育演習　　単位数: 2　　対象学年組: 第3学年A組

使用教科書:(実教出版『保育基礎』)

教科 の目標:

【知 識 及 び 技 能】人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目　保育演習　の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育に関する基礎的･基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元:子どもの保育 【知識及び技能】 保育者にはどのような資質が求められるかなどの保育者観についての考察を深める 【思考力、判断力、表現力等】 保育の意義と重要性について、保育所保育指針などを取り上げながら、保育が人間形成にどのようにかかわるかを考える 【学びに向かう力、人間性等】 子どもを取り巻く社会環境の変化や今後の保育の課題について理解し、改善策について積極的に思考する	・子どもの発達 ・保育の意義 ・保育者の役割 ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 発達時期の特性を考慮した保育の工夫が必要であることを理解している 【思考・判断・表現】 保育者の役割を理解し、その資質や能力を身につけるために必要なことを考察できている 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもを取り巻く環境が子どもの発達に大きな影響を与えることを理解し、課題に応じた適切な保育環境整備について述べている	○	○	○	12
	単元:子どもの発達 【知識及び技能】 乳幼児期の共通性や個別性といった特性を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 心の発達の土台として重要な愛着関係の形成について学び、親子関係、人間関係のひろがりについて考える	・乳幼児の身体的特徴 ・愛着形成 ・運動機能と認知機能 ・母体の健康 ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 乳幼児の身体的特徴と生理的特徴及びその変化に関する知識を身につけている 【思考・判断・表現】 子どもの身体発育、運動機能、認知機能などそれぞれの発達の特性について理解し、人間関係の広がりを考察している 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	14

	【学びに向かう力、人間性等】 知的発達、言葉の発達、社会性・情緒など様々な側面から、子どもの心の発達をとらえる		胎児の生育環境である母体に対する関心と課題意識を高め、出生後の発達について多角的にとらえている				
2学期	単元：生活と福祉 【知識及び技能】 子どもが心身の健康を保つための保育の技術を身につける 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの事故防止や安全な環境整備にはどのような配慮や準備が必要か具体的事例とあわせて理解する 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの生活に関心を持ち、様々な事例から問題解決に向けた考察をする	・子どもの食生活 ・子どもの衣生活 ・健康と事故防止 ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 子どもの食生活や衣生活について子どもの健康的な生活を支える保育の基礎的な技術を身につけている 【思考・判断・表現】 子どもにおこりやすい事故を予測し、その対策を考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの生活に関心を持ち、主体的に子どもの生活を理解しようとしている	○	○	○	10
	単元：子どもの食事 【知識及び技能】 乳幼児期の栄養や食事の特徴を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの発達に適した食事を計画、調理できる	・子どもの食事 ・乳汁栄養 ・離乳食 ・調理計画 ・基本的な調理技能	【知識・技能】 乳汁栄養や離乳食について学習し、その重要性や組み合わせについて理解する 【思考・判断・表現】 子どもの補食を計画、調理することができる	○	○		6
	単元：保育実習 【思考力、判断力、表現力等】 子どもと触れあう機会や保育の様子の観察などを通じて、保育への理解を深める 【学びに向かう力、人間性等】 子どもとの適切な関わり方などを実践から学ぶ意欲を高める	・名札制作 ・保育実習 ・振り返りレポート	【思考・判断・表現】 保育実習において安全に配慮し、子どもと適切にかかわり、観察することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 保育実習の記録をまとめ、成果を発表することができる		○	○	18
	単元：子どもの文化 【知識及び技能】 児童文化財や児童館などの子どもの生活の一部が発達にどのようにかかわるか理解する 【思考力、判断力、表現力等】 遊びにおける保育者からの働きかけを考え、遊びの援助ができるようにする	・子どもの遊び ・児童文化財の在り方 ・共遊玩具 ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 遊びを通じて子どもが豊かに発達することについて理解している 【思考・判断・表現】 子どもの文化の意義を理解し、それらの役割や今後の課題について考察することができる	○	○		10
							合計 70

東京都立神津高等学校 令和8年度（3学年） 教科：進路実現 科目：進路実現 A

教　科：　進路実現　　科　目：進路実現基礎　　単位数：　2　　対象学年組：　第3学年A組

使用教科書：なし

教科：進路実現の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】希望する進路実現に向けて自分のキャリアプランや考えを多彩に表現するために必要な専門的な語彙や教養を身につけ、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、文章作成やプレゼンテーションすることができる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】希望する進路に応じて、専門分野に関わる社会問題など課題を設定し、思考を深め、他者と協働し、話し合いながら情報を収集、整理する中で、課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】進路や自分自身に関することについて興味を持ち、進路実現に向けて意欲的に活動に取り組み、志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。

科目　進路実現 A　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
希望する進路実現に向けて自分のキャリアプランや考えを多彩に表現するために必要な専門的な語彙や教養を身につけ、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、文章作成やプレゼンする技能を身に付けることができる。	希望する進路に応じて、専門分野に関わる社会問題など課題を設定し、思考を深め、他者と協働し、話し合いながら情報を収集、整理する中で、課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。	進路や自分自身に関することについて興味を持ち、進路実現に向けて意欲的に活動に取り組み、志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元：志望校を確定に必要な情報を集める。 【知識及び技能】 志望校のオープンキャンパスの情報やアドミッションポリシーなどを読み、志望校の特徴や求める人物像を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の希望と照らし合わせ、情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 進路実現に向けて意欲的に活動に取り組み、志望理由書を誤字脱字なく読み手の視点になってきちんと書き上げる。	・指導事項 各自の志願理由書などを生徒相互で批評するなどのグループワークを行う。 ・教材：ワークシート、授業プリント ・一人1台端末の活用　等	【知識・技能】 志望校のオープンキャンパスの情報やアドミッションポリシーなどを読み、志望校の特徴や求める人物像を理解する。 【思考・判断・表現】 自分の希望と照らし合わせ、情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 進路実現に向けて意欲的に活動に取り組み、志望理由書を誤字脱字なく読み手の視点になってきちんと書き上げようとする。	○	○	○	7
	B 単元：小論文プレゼン対策1 【知識及び技能】 必要な専門的な語彙や教養を身につけ、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、文章作成する技能を身に付ける。	・指導事項 生徒個々で書いた小論文を生徒相互で批評するなどのグループワークを行う。	【知識・技能】 必要な専門的な語彙や教養を身につけ、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、文章作成する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】	○	○	○	7

	【思考力、判断力、表現力等】 進路に関わる社会問題など課題を設定し、思考を巡らし、他者と話し合いながら情報を収集、整理する中で、課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 　意欲的に活動に取り組み、誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げる。	・教材：ワークシート、授業プリント ・一人1台端末の活用　等	進路に関わる社会問題など課題を設定し、思考を巡らし、他者と話し合いながら情報を収集、整理する中で、課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 　進路実現に向けて意欲的に活動に取り組み、誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。				
	C 単元：小論文プレゼン対策2 【知識及び技能】 　専門的な語彙や教養を使い、語感を磨き、文章作成やプレゼンする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 　進路に関わる社会問題など課題を設定し、思考を巡らし、他者と話し合いながら課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 　意欲的に活動に取り組み、志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げる。	・指導事項 　生徒個々で書き上げた小論文を生徒相互で批評するなどのグループワークを行う。 ・教材：ワークシート、授業プリント ・一人1台端末の活用　等	【知識・技能】 　専門的な語彙や教養を使い、語感を磨き、文章作成やプレゼンする技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 　進路に関わる社会問題など課題を設定し、思考を巡らし、他者と話し合いながら課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に活動に取り組み、志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。	○	○	○	7
	D 単元：自身のキャリアプランを明確にし、それを文章表現できる力を身につけた上で志望校の出願に必要な書類を作成する。 【知識及び技能】 　希望する進路実現に向けて適切な言葉遣いや表記で文章作成やプレゼンする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 希望する分野に応じて、情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 　意欲的に志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。	・指導事項 ・教材：ワークシート、授業プリント ・一人1台端末の活用　等	【知識・技能】 　希望する進路実現に向けて適切な言葉遣いや表記で文章作成やプレゼンする技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 　希望する分野に応じて、情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 　意欲的に志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。	○	○	○	7

2学期	A 単元：出願準備 【知識及び技能】 　希望する進路実現に向けて適切な言葉遣いや表記で文章作成やプレゼンする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 　希望する分野に応じて、情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 　意欲的に志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用　等	【知識・技能】 　希望する進路実現に向けて適切な言葉遣いや表記で文章作成やプレゼンする技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 　希望する分野に応じて、情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 　意欲的に志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。	○	○	○	7
	B 単元:面接対策 【知識及び技能】 　進路実現に向けて、自身のこれまでの経験と今後のキャリアプランをプレゼンテーションする技能および、面接官と適切なコミュニケーションができる力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 　希望する分野に応じて、関連する情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを他者に分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 　意欲的に聞き手の視点になって自分の考えを伝える。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用　等	【知識・技能】 進路実現に向けて、自身のこれまでの経験と今後のキャリアプランをプレゼンテーションする技能および、面接官と適切なコミュニケーションができる力を身につける。 【思考・判断・表現】 　希望する分野に応じて、関連する情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを他者に分かりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に聞き手の視点になって自分の考えを伝えようとする。	○	○	○	10
	C 単元：専門分野の教養を身に付ける。 【知識及び技能】 　希望する進路実現に向けて、継続して粘り強く必要な知識を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 継続して粘り強く進路実現に向けて取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用　等	【知識・技能】 　希望する進路実現に向けて、継続して粘り強く必要な知識を身に付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 継続して粘り強く進路実現に向けて取り組むことができる。	○		○	7
3学期	A 単元：進路講話の準備 【知識及び技能】 　自身の進路活動を振り返り、必要な情報を集め、整理し適切な言葉遣いや表記で、文章作成やプレゼンテーションする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用　等	【知識・技能】 　自身の進路活動を振り返り、必要な情報を集め、整理し適切な言葉遣いや表記で、文章作成やプレゼンテーションする技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】	○	○		8

	自身の進路活動を振り返り、必要な情報を集め、整理し、他者分かりやすく自身の進路活動を説明する。		自身の進路活動を振り返り、必要な情報を集め、整理し、他者分かりやすく自身の進路活動を説明する。				
	B 単元:主体性のあるボランティア活動 【知識及び技能】 クラスや学校、地域社会の現状を理解し、計画的にボランティア活動を実行 する。 【学びに向かう力、人間性等】 地域社会、学校の集団の構成員として、意欲的にボランティア活動に参加する。	・指導事項 クラス、学校、地域を対象に卒業前に主体的に計画し目的意識をもちボランティア活動を実施する。 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 クラスや学校、地域社会の現状を理解し、計画的にボランティア活動を実行することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域社会、学校の集団の構成員として、意欲的にボランティア活動に参加することができる。	○		○	10
							合計 70

東京都立神津高等学校 令和8年度(3学年)　教科:進路実現 科目:進路実現 B

教　科:　進路実現　　科　目:進路実現基礎　　単位数:　2　　対象学年組:　第3学年A組

使用教科書:なし

教科:進路実現 A の目標:

【知　識　及　び　技　能】希望する進路実現に向けて自分のキャリアプランや考えを多彩に表現するために必要な専門的な語彙や教養を身につけ、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、文章作成やプレゼンテーションすることができる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】希望する進路に応じて、専門分野に関わる社会問題など課題を設定し、思考を深め、他者と協働し、話し合いながら情報を収集、整理する中で、課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】進路や自分自身に関することについて興味を持ち、進路実現に向けて意欲的に活動に取り組み、志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。

科目　進路実現 B　の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
希望する進路実現に向けて自分のキャリアプランや考えを多彩に表現するために必要な専門的な語彙や教養を身につけ、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、文章作成やプレゼンする技能を身に付けることができる。	希望する進路に応じて、専門分野に関わる社会問題など課題を設定し、思考を深め、他者と協働し、話し合いながら情報を収集、整理する中で、課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。	進路や自分自身に関することについて興味を持ち、進路実現に向けて意欲的に活動に取り組み、志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元:志望校を確定に必要な情報を集める。 【知識及び技能】 志望校のオープンキャンパスの情報やアドミッションポリシーなどを読み、志望校の特徴や求める人物像を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の希望と照らし合わせ、情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 進路実現に向けて意欲的に活動に取り組み、志望理由書を誤字脱字なく読み手の視点になってきちんと書き上げる。	・指導事項 各自の志願理由書などを生徒相互で批評するなどのグループワークを行う。 ・教材:ワークシート、授業プリント ・一人1台端末の活用　等	【知識・技能】 志望校のオープンキャンパスの情報やアドミッションポリシーなどを読み、志望校の特徴や求める人物像を理解する。 【思考・判断・表現】 自分の希望と照らし合わせ、情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 進路実現に向けて意欲的に活動に取り組み、志望理由書を誤字脱字なく読み手の視点になってきちんと書き上げようとする。	○	○	○	7
	B 単元:小論文プレゼン対策1 【知識及び技能】 必要な専門的な語彙や教養を身につけ、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、文章作成する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 生徒個々で書いた小論文を生徒相互で批評するなどのグループワークを行う。	【知識・技能】 必要な専門的な語彙や教養を身につけ、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、文章作成する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】	○	○	○	7

	進路に関わる社会問題など課題を設定し、思考を巡らし、他者と話し合いながら情報を収集、整理する中で、課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に活動に取り組み、誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げる。	・教材：ワークシート、授業プリント ・一人1台端末の活用　等	進路に関わる社会問題など課題を設定し、思考を巡らし、他者と話し合いながら情報を収集、整理する中で、課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 進路実現に向けて意欲的に活動に取り組み、誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。				
	C 単元：小論文プレゼン対策2 【知識及び技能】 専門的な語彙や教養を使い、語感を磨き、文章作成やプレゼンする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 進路に関わる社会問題など課題を設定し、思考を巡らし、他者と話し合いながら課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に活動に取り組み、志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げる。	・指導事項 生徒個々で書き上げた小論文を生徒相互で批評するなどのグループワークを行う。 ・教材：ワークシート、授業プリント ・一人1台端末の活用　等	【知識・技能】 専門的な語彙や教養を使い、語感を磨き、文章作成やプレゼンする技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 進路に関わる社会問題など課題を設定し、思考を巡らし、他者と話し合いながら課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に活動に取り組み、志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。	○	○	○	7
	D 単元：自身のキャリアプランを明確にし、それを文章表現できる力を身につけた上で志望校の出願に必要な書類を作成する。 【知識及び技能】 希望する進路実現に向けて適切な言葉遣いや表記で文章作成やプレゼンする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 希望する分野に応じて、情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。	・指導事項 ・教材：ワークシート、授業プリント ・一人1台端末の活用　等	【知識・技能】 希望する進路実現に向けて適切な言葉遣いや表記で文章作成やプレゼンする技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 希望する分野に応じて、情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。	○	○	○	7
2学期	A 単元：出願準備 【知識及び技能】 希望する進路実現に向けて適切な言葉遣いや表記で文章作成やプレゼンする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 希望する分野に応じて、情報を収集、整理する中で、自分の考え	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用　等	【知識・技能】 希望する進路実現に向けて適切な言葉遣いや表記で文章作成やプレゼンする技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 希望する分野に応じて、情報を収集、整理する中で、自分の考え	○	○	○	7

	を深めそれを分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げる		を深めそれを分かりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。				
	B 単元:面接対策 【知識及び技能】 進路実現に向けて、自身のこれまでの経験と今後のキャリアプランをプレゼンテーションする技能および、面接官と適切なコミュニケーションができる力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 希望する分野に応じて、関連する情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを他者に分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に聞き手の視点になって自分の考えを伝える。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用　等	【知識・技能】 進路実現に向けて、自身のこれまでの経験と今後のキャリアプランをプレゼンテーションする技能および、面接官と適切なコミュニケーションができる力を身につける。 【思考・判断・表現】 希望する分野に応じて、関連する情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを他者に分かりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に聞き手の視点になって自分の考えを伝えようとする。	○	○	○	10
	C 単元:専門分野の教養を身に付ける。 【知識及び技能】 希望する進路実現に向けて、継続して粘り強く必要な知識を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 継続して粘り強く進路実現に向けて取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用　等	【知識・技能】 希望する進路実現に向けて、継続して粘り強く必要な知識を身に付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 継続して粘り強く進路実現に向けて取り組むことができる。	○		○	7
3学期	A 単元:進路講話の準備 【知識及び技能】 自身の進路活動を振り返り、必要な情報を集め、整理し適切な言葉遣いや表記で、文章作成やプレゼンテーションする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自身の進路活動を振り返り、必要な情報を集め、整理し、他者分かりやすく自身の進路活動を説明する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用　等	【知識・技能】 自身の進路活動を振り返り、必要な情報を集め、整理し適切な言葉遣いや表記で、文章作成やプレゼンテーションする技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 自身の進路活動を振り返り、必要な情報を集め、整理し、他者分かりやすく自身の進路活動を説明する。	○	○		8
	B 単元:主体性のあるボランティア活動 【知識及び技能】 クラスや学校、地域社会の現状を理解し、計画的にボランティア活動を実行 する。	・指導事項 クラス、学校、地域を対象に卒業前に主体的に計画し目的意識をもちボ	【知識・技能】 クラスや学校、地域社会の現状を理解し、計画的にボランティア活動を実行することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○		○	10

	【学びに向かう力、人間性等】 　地域社会、学校の集団の構成員として、意欲的にボランティア活動に参加する。	ランティア活動を実施する。 ・教材 ・一人1台端末の活用　等	地域社会、学校の集団の構成員として、意欲的にボランティア活動に参加することができる。				
							合計 70

東京都立高等学校 令和8年度(3学年) 教科　自立活動　 科目　自立活動

教　科: 自立活動　科　目:自立活動　　単位数:2　　対象学年組:第　3 学年　A組

使用教科書:なし

教科　自立活動　の目標:

【 知　識　及　び　技　能 】自分の気持ちや体調の変化、緊張やストレスのサインについて理解し、基本的なセルフケア方法(呼吸法、休息の取り方、困りごとの伝え方など)を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】不安や怒りなどの気持ちが生じた時、状況を整理し、必要な対処方法を自分で選択できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】自分の考えや困りごと、感情を、言葉やカード、簡単なメモなど適した方法で表現し、他者に伝える力を伸ばす。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・自分の強み、また個別の課題や不得意な事について知る。 ・自らの課題の改善に向けて方策を知る。	・自分の強み、個別の課題を知り、理解を深める。 ・報告、連絡、相談を自ら意識して取組む。 ・自分の気持ちや意見を伝え方を学ぶ。	・授業の振り帰りを通して、自己理解を深める。 ・活動内容を理解し、意欲的に取組む。 ・活動や課題に対して、積極的に取組める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・ストレスの原因や反応を理解し、自分の状態に気づくことができる ・良好な人間関係を築くための基本的なスキルを習得する ・時間の使い方を振り返り、課題を把握することができる	○ストレスへの対応 ○コミュニケーション ○スケジュール管理	【知識・技能】 自分のストレスサインや感情の変化を理解し、適切な対処法(深呼吸・休息・相談など)を状況に応じて用いることができる。 朝の準備や登校までの流れを理解し、時間の逆算やスケジュールの読み取りがほぼ正確に行える。 挨拶、依頼、断り、相談などのコミュニケーション技能を、場面に応じて適切に使い分けることができる。 自分のストレスサインや感情の変化を理解できるが、適切な対処法の選択には支援が必要なことがある。 基本的なコミュニケーション技能は理解しているが、実際の場面での活用には促しや補助が必要なことがある。 【思考・判断・表現】 困りごとが起きた際に状況を整理し、自分に合った対処方法を適切に選択して行動に移すことができる。 遅刻しそうな状況でも、必要な行動(連絡をする／準備手順を変えるなど)を自ら判断し実行できる。	○	○	○	24

			感情・考え・要求を言葉やメモなど適した手段で分かりやすく伝えることができる。 困りごとに対して状況を整理しようとするが、対処方法の選択には助言が必要な場面がある。 感情や考えを表現しようとするが、相手に伝わりにくい場合があり、サポートが必要。 【主体的に学習に取り組む態度】 学校生活をより良くしたいという意欲を持ち、自ら生活習慣や行動を改善しようと取り組む姿勢が見られる。 ストレスコントロールやコミュニケーションの学習に前向きに参加し、活動後の振り返りも自力で行える。 登校習慣を安定させるための目標や対策を自分で設定し、継続して取り組むことができる。 学校生活を良くしようとする意識はあるが、主体的な行動には促しが必要なことがある。 ストレスコントロールやコミュニケーションの学習に参加できるが、振り返りや次の行動へのつながりは支援が必要。 登校習慣を改善しようとする姿勢はあるが、継続的な取り組みには支援が必要。				
2学期	・体験を通して自己と他者との違いを知り、自己の強みを体感する。 ・自分で考え、工夫して実行する姿勢を身に付ける。 ・社会生活で必要となるルールやマナーを理解し、身に付ける。 ・自己の身だしなみにも気をつかえるようになる。	○ソーシャルスキル、ライフスキルの向上 ○自己理解 ○他者理解 ○社会で必要なルールやマナーを知る ○働くための必要なことを考える ○キャリアデザイン ○共同、協働作業の実施	【知識・技能】 自己と他者の違いを理解し、自身の強みを言語化または行動で示すことができる。 社会生活で必要となるルールやマナーを理解し、学校生活で実践できる。 身だしなみを整えるためのポイント（清潔さ・服装・持ち物管理など）を理解し、自分の状況に合わせて整えることができる。 進路選択に必要な自分の適性（得意・苦手・性格など）を把握している。	○	○	○	23

	・他者理解の仕方を知る ・自分の進路について、適性を考え目標を持つ。	○ツールを活かして、自己の力の補い方を知る ○時間の管理、生活リズムの確認 ○個別のヒアリングの時間を適的に設け、個々への困り感を聞きながら課題解決を目指していく。	自己と他者の違いを理解できるが、自身の強みの表現や活用には支援が必要。 基本的なルールやマナーは理解しているが、場面によって実行が不安定。 身だしなみの整え方を理解しているが、声かけ・助言を要することがある。 自分の適性を理解しようとするが、整理・把握には支援が必要。 【思考・判断・表現】 自分の経験を振り返り、自己と他者の違いを踏まえた考え方ができる。 生活や活動の中で工夫点を自分で見つけ、実行方法を選択して行動に移すことができる。 他者理解の方法（話を聞く・違いを尊重する等）を実生活で活用できる。 進路について、自分の希望と適性をふまえて現実的な目標設定ができる。 【主体的に学ぶ態度】 自分の強みや経験を生かしながら活動に前向きに取り組む姿勢が見られる。 工夫して行動しようとする意欲が高く、試行錯誤しながら取り組むことができる。 ルールやマナー、身だしなみに気をつけようとする意識が継続している。 自分の進路に関心を持ち、目標に向けて必要な行動を主体的に行おうとする。				
3学期	・コミュニケーション能力の向上を図る。 ・振り返りと改善をおこない、次年度の計画と実行をたてる。 ・自分の苦手や得意なことを発見し、改善策を見出す。 ・社会生活で必要となるルールやマナ	○ソーシャルスキル、ライフスキルの向上 ○自己理解 ○振り返りと改善の思考を育む ○働くために必要な力の向上を図る ○キャリアデザイン	【知識・技能】 コミュニケーションに必要な基本的スキル（挨拶、相談、報告、相手の話を聞く等）を理解し、状況に応じて活用できる。 振り返りの方法（KPT・日記・ふりかえりカード等）を理解し、自力で活用できる。	○	○	○	23

	ーを理解し、身に付けようと進んで取り組めるようになる。 ・自分の進路について、適性を考え目標に対して継続的におこなう	○共同、協働作業の実施 ○2026 年度の目標設定と行動計画の作成 ○時間の管理、生活リズムの確認 ○ツールを活かして、自己の力の補い方を知る ○進路の方向性を決定し、進路決定に向けて準備する	自分の得意・苦手を把握し、それに対応する改善策を説明できる。 社会・学校生活のルールやマナーを理解し、実践できる。 進路に関する必要な情報（仕事内容、適性、進路の選択肢など）を理解し、自分の目標に結びつけて考えられる。 コミュニケーションの基本スキルは理解できるが、場面に応じた使い分けには助言が必要。 振り返りはできるが、改善点の抽出やまとめには支援が必要。 得意・苦手を理解しつつも整理が不十分で、改善策の設定には支援が必要。 ルールやマナーを理解しているが、実践が場面によって不安定。 進路に関する理解はあるが、適性と結びつけるには助言が必要。 【思考・判断・表現】 相手の立場や状況を考慮しながら、適切なコミュニケーション方法を選択し表現できる。 活動や経験を振り返り、課題→改善策→次の行動へとつなげることができる。 自分の特徴（得意・苦手）を分析し、適切な改善策や工夫を選択できる。 ルールやマナーを「なぜ必要なのか」考え、場に応じて自ら判断して行動できる。 進路について、自分の適性と希望を関連付けて目標や行動計画を作成できる。				

			状況を考えてコミュニケーションを取ろうとするが、表現の選択に助言が必要。 振り返りができるが、改善点の設定や次の行動へのつなげ方が不十分。 得意・苦手を踏まえて改善策を考えようとするが、選択や判断に支援が必要。 【主体的に学ぶ態度】 コミュニケーション能力向上に向けて積極的に活動に参加する姿勢がある。 振り返りを自発的に行い、改善を意識した取り組みができる。 自分の課題を自ら見つけ、改善に向けて継続的に努力する姿勢がある。 ルールやマナーを守ろうとする意識が高く、自分で行動を調整できる。 進路目標に向けて、必要な行動を継続して実行しようとする意欲が見られる。 活動には参加できるが、主体的な取り組みには声かけを必要とする。 振り返りや改善への取り組みはあるが、継続性に課題がある。 自分の課題に気付こうとするが、実際の改善には支援が必要。 ルールやマナーへの意識はあるが、安定した実践には助言が必要。 進路目標に向けて取り組もうとするが、継続には支援が必要。				
							合計 70